

カリキュラムマップ

カリキュラムマップとは、授業科目と教育目標の関係を示した表のことで、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に基づき、各科目が卒業するまでに身につける能力のどの項目と関連するのかが示しています。

このカリキュラムマップにより、学修内容の順次性や科目間の関連性が一目でわかり、自らの学修内容を容易に把握することができます。

教養教育科目 カリキュラムマップ

①教養部における「人材の養成・教育研究上の目的」（P.42参照）に則り、教養教育のカリキュラムは、大学教育の土台となる「基礎学力の育成」、ならびに多様な知識と価値観および深い洞察力を涵養する「リベラル・アーツの修得」を柱とする。②「基礎学力の育成」においては、情報収集力や言語表現力などの基礎学習力を培い、さらに課題発見力、論理的思考力、問題解決力、自己表現力を育成するために多彩な教育科目を展開する。③「リベラル・アーツの修得」においては、新たな価値の創造と知の多様性に対応できる人材の養成を目指して、人文科学・社会科学・自然科学の広範な領域、及び学際的なテーマを網羅した多種多様な科目を開講する。

教養教育科目 カリキュラムマップ

授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3						
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成						
				B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
				高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
宗教学Ⅰ B111-113-01	「建学の精神」を学び、また、多様な宗教の見方・捉え方（分類法など）や、世界各地の宗教の概要・歴史を学習する。	宗教を客観的に学ぶことで高い倫理性を持った人間性を獲得し、また、世界各地の宗教を学ぶことで多様な文化・価値観を理解する。	◎	◎	◎	○		○	○	○		
宗教学Ⅱ B111-113-02	インドで生まれた仏教・禅の教え（世界観・価値観）の基本を学び、世界各地へ伝わった歴史を学ぶ。	仏教の智慧を学ぶことで、課題発見力や問題解決力を養い、また、慈悲を学ぶことで、他者との協調性を養い、価値観の多様化した現代においても力強く生きられる柔軟性を得る。	◎	◎	◎	○		○	○	○		
教養セミナー 「学問の発見」Ⅰ B132-841-01	教員の専門性を生かしながら、学生の学びへの姿勢を喚起させる。そのため、愛知学院大学教養部が編纂した教養セミナーハンドブック第Ⅰ部『大学で学ぶために』を共通テキストとして使用する。	リベラル・アーツへの目覚めを喚起し、高校までの受動的な学習形態から、大学での能動的な学習形態へ導き、大学で学ぶための心構えを意識させることを目標とする。	○	○	○	○	◎	◎	○	○	◎	
教養セミナー 「学問の発見」Ⅱ B132-841-02	教員の専門性を生かしながら、学生の学びへの姿勢を喚起させる。そのため、愛知学院大学教養部が編纂した教養セミナーハンドブック第Ⅰ部『大学で学ぶために』を共通テキストとして使用する。	リベラル・アーツへの目覚めを喚起し、高校までの受動的な学習形態から、大学での能動的な学習形態へ導き、大学で学ぶための心構えを意識させることを目標とする。	○	○	○	○	◎	◎	○	○	◎	
教養セミナー 「学問の発見」Ⅲ B232-841-03	「教養セミナーⅠ・Ⅱ」の発展系の授業として「学問の発見」をより深く考える科目であり、各担当教員の専門性を活かした形での授業として少人数のセミナー形式で授業が行われる。	各担当教員による幅広い分野の専門性を活かした科目として、学問に対する好奇心や探究心などをより一層高めることを目標とする。	○	○	○	○	◎	◎	○	○	◎	
教養セミナー 「学問の発見」Ⅳ B232-841-04	「教養セミナーⅠ・Ⅱ」の発展系の授業として「学問の発見」をより深く考える科目であり、各担当教員の専門性を活かした形での授業として少人数のセミナー形式で授業が行われる。	各担当教員による幅広い分野の専門性を活かした科目として、学問に対する好奇心や探究心などをより一層高めることを目標とする。	○	○	○	○	◎	◎	○	○	◎	
心理学Ⅰ B131-285-01	心理学は、心の営みを科学的に解明しようとする学問分野で、認知、生理、発達、教育、社会、臨床など様々な領域から成り立っている。各領域の代表的な知見に触れながら、基本的な心の仕組みと働きを学ぶ。	様々な実証的研究知見に基づき、心の仕組みや働きを理解し、自己の心の働きや行動について内省したり、自己や他者の心の働きに関心を向けたりすることにより、良好な人間関係を構築できるようになること。	○	○	○			◎	○	◎	○	
心理学Ⅱ B131-285-02	心理学は、心の営みを科学的に解明しようとする学問分野で、認知、生理、発達、教育、社会、臨床など様々な領域から成り立っている。各領域の代表的な知見に触れながら、基本的な心の仕組みと働きを学ぶ。	様々な実証的研究知見に基づき、心の仕組みや働きを理解し、自己の心の働きや行動について内省したり、自己や他者の心の働きに関心を向けたりすることにより、良好な人間関係を構築できるようになること。	○	○	○			◎	○	◎	○	

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
哲学Ⅰ B131-111-01	哲学史、倫理学、社会哲学、科学哲学、等々、哲学という広範な学問領域の中から分野を絞り込んで概説する。各々の分野を通して、哲学という学問一般に特徴的な思考様式や方法論の理解・習得を目指す。	言葉＝ロゴスによる説得という哲学的な思考様式の特徴を理解すると同時に、その思考様式を身の周りの具体的な問題に適用できる応用力を養う。	○	△	△		○	◎	◎	△	
哲学Ⅱ B131-111-02	哲学史、倫理学、社会哲学、科学哲学、等々、哲学という広範な学問領域の中から分野を絞り込んで概説する。各々の分野を通して、哲学という学問一般に特徴的な思考様式や方法論の理解・習得を目指す。	言葉＝ロゴスによる説得という哲学的な思考様式の特徴を理解すると同時に、その思考様式を身の周りの具体的な問題に適用できる応用力を養う。	○	△	△		○	◎	◎	△	
論理学Ⅰ B131-111-11	現代記号論理学を中心に、命題論理と述語論理の基礎を学ぶと同時に、それを一つの素地にして形成された言語哲学やクリティカル・シンキングといった、発展的・実践的分野についても一定の理解を得る。	命題論理と述語論理の基本となる考え方を学んで、人間の思考における論理の役割を理解すると同時に、問題演習等を通して論理的な推論実践の技術を磨く。					○		◎	△	
論理学Ⅱ B131-111-12	現代記号論理学を中心に、命題論理と述語論理の基礎を学ぶと同時に、それを一つの素地にして形成された言語哲学やクリティカル・シンキングといった、発展的・実践的分野についても一定の理解を得る。	命題論理と述語論理の基本となる考え方を学んで、人間の思考における論理の役割を理解すると同時に、問題演習等を通して論理的な推論実践の技術を磨く。					○		◎	△	
文学Ⅰ B131-135-01	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものごとを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力、を修得することを目標とする。		◎		△	○	○	◎		
文学Ⅱ B131-135-02	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものごとを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力、を修得することを目標とする。		◎		△	○	○	◎		
美術Ⅰ B131-116-01	美術の歴史、人物、環境等を通し現代社会の美術の見方、考え方を学び美術の基本姿勢を修得させていく。	美術の基本的な姿勢や見方を修得する。個々の美術観を築き表現法を見出ししていく。	◎	○	○	△	○	○	○	△	◎
美術Ⅱ B131-116-02	美術の基本理念に基づき多様に広がる美術事情を探り自己の美意識を広げ表現力を高めていく。	美術の理念を深め自己の造形に表現力を加え、美術の基礎の確立を計る。	◎	○	○	△	○	○	○	△	◎
法学Ⅰ B131-211-01	法学全般の基礎、及び憲法の基礎について講義する。	法学全般に通じる基本原理、及び憲法の基本原理を理解する。	○	△		○	○	○	◎	◎	
法学Ⅱ B131-211-02	民法の基礎について講義する。	民法の基本原理を理解する。	○	△		○	○	○	◎	◎	
政治学Ⅰ B131-222-01	民主主義・自由主義などの原理、執政制度・選挙制度などの政治制度を学ぶ。	政治の基本的原理や制度を理解する。	○	○		○	○	○	◎	◎	
政治学Ⅱ B131-222-02	日米英独仏など各国の政治を比較して学ぶ。国際政治の仕組みについて学ぶ。	各国政治および国際政治の基本を理解する。	○	○		○	○	○	◎	◎	

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
社会学Ⅰ B131-261-01	本講義は、具体例を挙げながら、社会学が考えてきたこと、明らかにしてきたことを確認し、社会学の概念や方法を理解していきます。また、それらの知識を用いて、現代社会の諸課題についても考えます。	社会学の「問い」、「概念」、「方法」を理解すること。そして、社会的思考を用いて、自ら現代社会の諸課題の様相について説明できるようになること。	○	◎		△		○	◎	○	
社会学Ⅱ B131-261-02	本講義は、社会階層、文化集団、コミュニティ等を取り上げ、社会学的な視点からそれらの集団の特徴を理解していきます。そして各集団と現代社会の諸課題の関連についても考えていきます。	各集団の特徴を理解すること。そして、現代社会の諸課題が各集団のなかでなぜ発生し、どのように顕在化していくのかについて説明できるようになること。	○	◎		△		○	◎	○	
教育学Ⅰ B131-271-01	教育学は、人がよりよく生きるために欠かせない「教育」を対象とする学問である。その特徴は哲学、歴史学、社会学、行政学などの学問を基礎とした学際的な性格にあり、本授業では教育を様々な角度から考察する。	教育学の基礎的知識や概念を理解できるとともに、その基礎知識や概念を活用して現代の教育状況について多面的に考察でき、さらに自らが社会の形成者として教育についての意見を持つことができることを目指す。	○			○		◎	◎	○	○
教育学Ⅱ B131-271-02	教育学は、人がよりよく生きるために欠かせない「教育」を対象とする学問である。その特徴は哲学、歴史学、社会学、行政学などの学問を基礎とした学際的な性格にあり、本授業では教育を様々な角度から考察する。	教育学の基礎的知識や概念を理解できるとともに、その基礎知識や概念を活用して現代の教育状況について多面的に考察でき、さらに自らが社会の形成者として教育についての意見を持つことができることを目指す。	○			○		◎	◎	○	○
歴史学Ⅰ B131-161-01	文献資料や映像資料を駆使して、日本及び外国の歴史に関する講義を行っている。また受講生に対して、授業内では講義内容に関する感想を書かせたり、定期試験では主に論述問題を課したりしている。	歴史における文化の形成を広い視野に立って考察することによって、歴史的思考力を培い、日本や外国の成立の歴史的過程と特質を把握させて、近代市民としての自覚を深める。	○	◎	△	○	○	◎	○	○	○
歴史学Ⅱ B131-161-02	文献資料や映像資料を駆使して、日本及び外国の歴史に関する講義を行っている。また受講生に対して、授業内では講義内容に関する感想を書かせたり、定期試験では主に論述問題を課したりしている。	歴史における文化の形成を広い視野に立って考察することによって、歴史的思考力を培い、日本や外国の成立の歴史的過程と特質を把握させて、近代市民としての自覚を深める。	○	◎	△	○	○	◎	○	○	○
地理学Ⅰ B131-181-01	地理学の基礎的な知識を、国内外の社会の中にみられる具体的な実例を挙げながら紹介する。社会や自然を構成する多様な要素を取り上げ、それらの相互関係や、分布の差異を示すことで、地理学的なもののとらえ方を身に着ける。	社会の中にみられる諸現象を地理学的な観点から説明することができる。世界あるいは日本の中にみられる多様性と地域性について理解することができる。	△	◎	○	○		○	◎	○	
地理学Ⅱ B131-181-02	地理学が扱う多様な課題の中から特定のものを取り上げ、その問題を関連する事象とともに追究する。このことによって、取り上げる課題についての理解を深めるとともに、地理学的なもののとらえ方についても深化させる。	取り上げる地理学的課題についての基礎的な知識事項を述べることができる。取り上げる地理学的課題を通じて、世界・日本の社会・自然のあり方について、論理的な考察が行えるようになる。	△	◎	○	○		○	◎	○	
数学Ⅰ B131-323-01	数学の問題を解くことを通して、数学的な手法と論理的思考を学ぶ。	社会で生きていく上で必要な数学的手法と論理的思考の習得を到達目標とする。						○	◎	◎	△
数学Ⅱ B131-323-02	数学の問題を解くことを通して、より進んだ数学的な手法と論理的思考を学ぶ。	社会で生きていく上で必要な、より進んだ数学的手法と論理的思考の習得を到達目標とする。						○	◎	◎	△

教養教育科目　カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
統計学Ⅰ B131-603-01	統計の問題を解くことを通して、統計的な手法と統計的な論理的思考を学ぶ。	社会生活に役立つ統計の手法と統計的な論理的思考の習得を到達目標とする。				◎		○	○	◎	
統計学Ⅱ B131-603-02	統計の問題を解くことを通して、より進んだ統計的な手法と統計的な論理的思考を学ぶ。	社会生活に役立つ、より進んだ統計の手法と統計的な論理的思考の習得を到達目標とする。				◎		○	○	◎	
物理学Ⅰ B131-420-01	歴史を辿ったり、身近な現象を題材にしたりしながら、生活や社会に密接に関わっている『物理』を学ぶ。	なぜ？という疑問を持ち、それを解決するために論理的に考える力を身につける。						△	◎	○	
物理学Ⅱ B131-420-02	歴史を辿ったり、身近な現象を題材にしたりしながら、生活や社会に密接に関わっている『物理』を学ぶ。	なぜ？という疑問を持ち、それを解決するために論理的に考える力を身につける。						△	◎	○	
化学Ⅰ B131-420-11	化学の基礎を学びながら、日常生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。「なぜこうなるの?」といった好奇心から出発して、化学の面白さを伝えます。	素朴な疑問をもとに、文系の学生にとっての化学に対する苦手意識を軽減します。化学的なモノの考え方を修得し、科学リテラシーや論理的思考力を身につけることを目標とします。						△	◎	○	
化学Ⅱ B131-420-12	化学の基礎を学びながら、日常生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。「なぜこうなるの?」といった好奇心から出発して、化学の面白さを伝えます。	素朴な疑問をもとに、文系の学生にとっての化学に対する苦手意識を軽減します。化学的なモノの考え方を修得し、科学リテラシーや論理的思考力を身につけることを目標とします。						△	◎	○	
生物学Ⅰ B131-420-21	身近なできごとやさまざまな社会問題と生物学の関わりを知り、生物を理解するために必要な教養レベルでの基礎的知識と概念を学ぶ。	社会生活の中で直面する様々な医療問題や環境問題などを正しく理解し、また自分で考えるために必要な基礎的な生物学的知識を身につける。				△		○	◎	◎	
生物学Ⅱ B131-420-22	身近なできごとやさまざまな社会問題と生物学の関わりを知り、生物を理解するために必要な教養レベルでの基礎的知識と概念を学ぶ。	社会生活の中で直面する様々な医療問題や環境問題などを正しく理解し、また自分で考えるために必要な基礎的な生物学的知識を身につける。				△		○	◎	◎	
仏教と現代社会Ⅰ B231-112-01	現代社会の諸問題に関する仏教からの提言	仏教的価値観を対立軸として、現代社会の価値観や諸課題を考える力を育てる	○	◎	◎	○		○	○	○	
仏教と現代社会Ⅱ B231-112-02	現代社会の諸問題に関する仏教からの提言	仏教的価値観を対立軸として、現代社会の価値観や諸課題を考える力を育てる	○	◎	◎	○		○	○	○	
禅と人間Ⅰ B231-112-11	禅の概要および禅宗の特徴を概説し、禅語（公案）を通じて禅の思想を解説するとともに、坐禅の実習によって禅の修行を体感する	坐禅や公案の学習などの禅の修行生活の重要な要素を通じて、禅の本質を理解する	◎	○			△		○		
禅と人間Ⅱ B231-112-12	中国および日本における禅宗の歴史や思想を概説し、禅の影響のもと成立した茶道・絵画・建築・陶磁器・書などの日本独自文化を解説する。	禅と日本文化との関係を具体的に理解し、禅によって培われた日本独自の美意識や感性を体得する	○	◎						△	
生命に関する諸問題Ⅰ B231-118-01	「生と死」という解決し難い古来からのテーマについて、自然・人文・社会科学などの多様な視点・観点からアプローチする。	総合的に問題を捉えて解決したり、創造性を持って新たな課題を見い出したりする力をつける。自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築く。	◎	○		○		◎	○	○	

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
生命に関する諸問題Ⅱ B231-118-02	「生と死」という解決し難い古来からのテーマについて、自然・人文・社会科学などの多様な視点・観点からアプローチする。	総合的に問題を捉えて解決したり、創造性を持って新たな課題を見い出したりする力をつける。自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築く。	◎	○		○		◎	○	○	
人間行動の理解Ⅰ B231-285-01	心理学で扱う理論や事象は実験や調査で得られたデータに基づいている。本講義では、実際に実験を行い、仮説検証の考え方からデータの収集方法、結果の解釈に至るまで、心理学の基本的な方法論について理解を深める。	心の仕組みや働きを明らかにするための様々な方法論を理解したうえで、科学的な手続きと正確なデータ収集の重要性を認識し、さらにそれらをまとめて論理的な報告書の作成ができるようになること。	○	○	○	◎		◎	○	○	
人間行動の理解Ⅱ B231-285-02	フロイトの精神分析の口語版といわれる「交流分析」の理論と実践について学ぶ。交流分析は、パーソナリティ理論やコミュニケーション理論を含む心理療法のひとつであり、自己洞察を繰り返すことで、より良い人間関係と自己の生き方を築くことを目指す。	自己理解と他者理解を深め、よりよいコミュニケーションと自己の問題点の把握と改善へつなげること。	○	○	◎			○	○	◎	○
人間の尊厳と平等Ⅰ B231-261-01	本授業では、これまでに人間社会が形成してきた人権について、様々な歴史的事例や条文などの学びを通して、人権の基礎を習得する。	人権の成立過程や現代における課題を学び、一人一人の人間性を尊重し、他者と協調できるようになる。また、差別について批判的精神を養う。	◎	○	◎	○		○	○	○	
人間の尊厳と平等Ⅱ B231-261-02	本授業では、社会福祉の成立過程を学びながら、「福祉国家」や「社会福祉事業」への理解を深め、社会福祉の基礎を習得する。	社会福祉の学びを通して、一人一人の人間性を尊重し、多様な価値観を理解できるようになる。そして、自ら社会貢献が積極的に可能になることを目指す。	○	◎	◎	○		○	○	○	○
日本の文化と社会Ⅰ B231-162-01	日本の歴史・文学・ことばを中心に、人々がそれらの事象とどのように関わってきたのか、どのような変化をとげてきたのか、を学ぶ。	科学的な探究の精神に基づいて、日本における、社会と文化と人間に対する理解を深め、複眼の視座を涵養する。		◎		△	○	○	◎		
日本の文化と社会Ⅱ B231-162-02	日本の歴史・文学・ことばを中心に、人々がそれらの事象とどのように関わってきたのか、どのような変化をとげてきたのか、を学ぶ。	科学的な探究の精神に基づいて、日本における、社会と文化と人間に対する理解を深め、複眼の視座を涵養する。		◎		△	○	○	◎		
アジアの文化と社会Ⅰ B231-163-01	文献資料や映像資料を駆使して、中国の芸能・小説などの伝統文化、及び近現代の政治・社会史に関する講義を行う。また定期試験などを通して受講生に論述の機会を設けている。	日本人にとって「他者」である中国を多面的に理解することを目指す。その上で、筋道を立てた論述能力や課題発見力、問題解決力を涵養することを目指す。	○	◎	△	○	○	◎	○	○	○
アジアの文化と社会Ⅱ B231-163-02	文献資料や映像資料を駆使して、中国の芸能・小説などの伝統文化、及び近現代の政治・社会史に関する講義を行う。また定期試験などを通して受講生に論述の機会を設けている。	日本人にとって「他者」である中国を多面的に理解することを目指す。その上で、筋道を立てた論述能力や課題発見力、問題解決力を涵養することを目指す。	○	◎	△	○	○	◎	○	○	○
ヨーロッパの文化と社会Ⅰ B231-165-01	ヨーロッパの思想・文化の理解	ヨーロッパ諸国の事例を学習することで、未来の日本社会構築の参考にする。	○	◎		○		◎	○	○	
ヨーロッパの文化と社会Ⅱ B231-165-02	ヨーロッパの思想・文化の理解	ヨーロッパ諸国の事例を学習することで、未来の日本社会構築の参考にする。	○	◎		○		◎	○	○	

教養教育科目 カリキュラムマップ										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3				
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成				
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う
英語圏の文化と社会Ⅰ B231-804-01	英語圏の文化的な側面と社会的な側面について講義	英語圏の文化や英語の使用における社会的な背景について理解できる		◎			◎			
英語圏の文化と社会Ⅱ B231-804-02	英語圏の文化的な側面と社会的な側面について講義	英語圏の文化や英語の使用における社会的な背景について理解して説明できる		◎			◎			
人間と環境Ⅰ B231-646-01	社会・地球・自然・食など様々な角度から人間と環境の関わりについて学んでゆきます。	人間をとりまく種々の環境についての正しい知識を学び、玉石混淆の情報から正しい情報を読み解く力を身につけることができる。		○		○		◎	○	◎
人間と環境Ⅱ B231-646-02	社会・地球・自然・食など様々な角度から人間と環境の関わりについて学んでゆきます。	人間をとりまく種々の環境についての正しい知識を学び、玉石混淆の情報から正しい情報を読み解く力を身につけることができる。		○		○		◎	○	◎
情報と社会Ⅰ B231-622-01	ネットワーク社会における情報の扱い方と倫理的問題点を習得する。	ネットワーク社会における情報の扱い方と倫理的問題点の習得を到達目標とする。		○		◎		○	○	◎
情報と社会Ⅱ B231-622-02	ネットワーク社会におけるより進んだ情報の扱い方と倫理的問題点を習得する。	ネットワーク社会におけるより進んだ情報の扱い方と倫理的問題点の習得を到達目標とする。		○		◎		○	○	◎
産業と科学Ⅰ B231-118-01	生活に関連した産業と科学技術に関する話題を、複数の視点から多角的に分析し、解説する。	産業と科学技術に関する知識を学び、それを生かして生活における諸問題に対処できるような柔軟な思考力を身につける。				○		○	◎	◎
産業と科学Ⅱ B231-118-02	生活に関連した産業と科学技術に関する話題を、複数の視点から多角的に分析し、解説する。	産業と科学技術に関する知識を学び、それを生かして生活における諸問題に対処できるような柔軟な思考力を身につける。				○		○	◎	◎
ソフトウェア概論Ⅰ B231-605-01	コンピュータ・プログラミングの課題を解くことを通して、コンピュータの多様な使い方を習得する。	コンピュータ・プログラミングとコンピュータの多様な使い方の習得を到達目標とする。						○	◎	◎
ソフトウェア概論Ⅱ B231-605-02	コンピュータ・プログラミングの課題を解くことを通して、より進んだコンピュータの多様な使い方を習得する。	より進んだコンピュータ・プログラミングとコンピュータの多様な使い方の習得を到達目標とする。						○	◎	◎
健康の科学 B231-594-01	健康や病気を理解するための基礎知識、とくに生活習慣との関わりや疾病予防の重要性について解説する。	健康的な生活を送るための基礎知識を身につけ、日常生活の中で実践できるようになることを目的とする。			△	△		○	○	◎
英語Ⅰa B114-141-01	英語のリスニングと英会話を中心とした授業	基礎的な英語表現の聞き取りと基礎的な会話表現ができる		○	○		◎			○
英語Ⅱa B114-141-02	英語のリスニングと英会話を中心とした授業	少し発展的な英語表現の聞き取りと会話表現ができる		○	○		◎			○
英語Ⅰb B114-141-03	英語の読解を中心とした総合演習	基礎的な英文を読んで内容が理解できる		○		○	◎		○	
英語Ⅱb B114-141-04	英語の読解を中心とした総合演習	少し発展的な英文を読んで内容が理解できる		○		○	◎		○	

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
英語Ⅰc B114-141-05	英作文・英文法を中心とした総合英語	基礎的な英文を書いて自己表現ができる		○			◎		○		○
英語Ⅱc B114-141-06	英作文・英文法を中心とした総合英語	少し発展的な英文を書いて自己表現ができる		○			◎		○		○
ドイツ語Ⅰ B114-145-01	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅱ B114-145-02	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解		◎			◎		○		○
中国語Ⅰ B114-147-01	発音の習得から始めて、入門時に必要とされる常用単語及び初歩的な文型を学び、未習外国語である中国語の学習の基礎を固める。常に双方向の授業を心がけ、中国語運用能力の基礎を作る。	中国語の発音を習得し、中国語のローマ字表記を読めるようにする。併せて、初歩的な常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な中国語を使えるようにする。		◎			◎		○		○
中国語Ⅱ B114-147-02	中国語Ⅰで学んだ中国語の基礎の上にさらにステップアップを目指す。発音の習熟度をより高め、語彙及び理解でき、かつ使用できる文型を増やすことによって、中国語の運用能力を高める。	中国語の発音をより確実なものにし、より多くの常用語彙、重要文型を学び、中国語の構造に対する理解を深め、初歩的な中国語運用能力を身につけるようにする。		◎			◎		○		○
フランス語Ⅰ B114-146-01	綴りと音の関係を理解し、フランス語文の音読を可能にする。基本文型を暗記し、フランス語のリズムを覚える。	フランス語文を単独で音読できるようにし、挨拶や買い物などの簡単な日常会話に慣れる。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅱ B114-146-02	人称の概念を理解し、基本動詞の活用を学習する。辞書を利用して平易なフランス語文を訳読し、暗記する。	会話文や説明文を、辞書を用いて単独で読解する。人物の会話から、フランス人の基本となる物の考え方を理解する。		◎		○	◎		○		○
韓国語Ⅰ B114-148-01	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、それを通じて朝鮮半島の歴史、社会、文化、思想について理解を深め、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。		◎		○	◎		○		○
韓国語Ⅱ B114-148-02	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、それを通じて朝鮮半島の歴史、社会、文化、思想について理解を深め、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。		◎		○	◎		○		○
ドイツ文化事情 B124-145-61	ドイツ語圏の国々の思想・文化・社会の探究	「ドイツ」から今後の日本社会に優位な考え方を学び取る		◎		○		○			
中国文化事情 B124-147-61	映像等を用い、中国の歴史、地理、社会等各方面から、中国語の背後にある中国文化の様々な側面を学び、多様な文化に対する理解を深める。	中国の社会や伝統文化に対する知識を増やし、より広い視野を持って、多様な文化、価値観が理解できるようなることを目指す。		◎		○		○			

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
フランス文化事情 B124-146-61	フランス人の物の考え方や、習慣、歴史、社会制度などを習得する。異文化理解が単一民族の日本人には重要であることを認識する。	個人の自由を重んじるフランス人の国民性を理解し、それが日常生活や社会制度の中で、どのように機能しているかを考察を深める。		◎		○		◎	○	○	
韓国文化事情 B124-148-61	様々な文献・視聴覚資料を活用し、韓国・朝鮮の文化・社会・歴史などについて学ぶ。単なる知識の伝達ではなく、日本との比較などや、様々な観点からの観察・分析、「韓国文化」の全般について正しく理解していく。	日常の様々な事柄について客観的な立場から観察・分析力を身につけることができる。また、日韓の文化比較を行い様々な意見や情報交換によって、自分の意見を表明する積極性と論理性を高めることができる。		◎	○	○	○		◎		○
日本語Ⅰa B114-139-01	高度な文法力や読解力を身につけることを目的に論理的な文章を読む。	論理的な文章が読めるようになる。また、教材を通して日本社会への理解を深めることができる。					◎		◎		○
日本語Ⅱa B114-139-02	読解力を向上させるために、論理的な文章だけでなく、エッセイなども取り上げて読む。	様々なタイプの文章を、一人で読めるようになる。また、内容に関して意見や感想をまとめることができる。					◎		◎		○
日本語Ⅰb B114-139-03	日本語の聴解、会話、口頭発表を扱う。	留学生活に必要な聴解力・会話力を身につけ、わかりやすい発表ができるようになる。				○	◎		○		◎
日本語Ⅱb B114-139-04	日本語の聴解、会話、口頭発表を扱う。	日本社会で起きている話題について聴き取れ、資料を基に論理的に意見が述べられるようになる。				○	◎		○		◎
日本語Ⅰc B114-139-05	論理的な文章をわかりやすく書くための基礎的な技法を学ぶ。	事実と自分の考えとを書き分ける力、資料に基づいて自分の考えを書き進める力などを身につけることができる。					◎		○	○	◎
日本語Ⅱc B114-139-06	関心のあるテーマについて問題を見出し、資料を用いてその答えをレポートとしてまとめる。	レポートを書くことを通して、読み・書きの高度な日本語力を身につけることができる。				○	◎	○	◎	○	○
日本語Ⅰd B214-139-07	意見文を読み、自分の意見を述べたり、内容を要約したりする。	社会で問題になっている様々な問題について、自分の考えをわかりやすく述べることができる。		○			◎		○		◎
日本語Ⅱd B214-139-08	ディベートやスピーチ学習などを通して、まとまりのある内容を的確に伝える方法を学ぶ。	自分の考えをわかりやすく伝えることができる。		○	○	○	◎	○	○	○	◎
日本語Ⅰe B214-139-09	「食」をメインテーマに課題を設定し、資料を集め、まとめて発表する。	高度な日本語力およびプレゼンテーション能力を身につけることができる。		○		○	◎	◎	○	○	○
日本語Ⅱe B214-139-10	日本の文化や社会に関するテーマについて、課題を設定し、調べて発表する。	高度な日本語力およびプレゼンテーション能力を身につけることができる。		○		○	◎	◎	○	○	○
英会話Ⅰ B134-141-11	外国人教員による英会話演習	簡単な英会話で自己表現ができる		○	○		◎				○
英会話Ⅱ B134-141-12	外国人教員による英会話演習	少し発展的な内容の英会話で自己表現ができる		○	○		◎				○
英会話Ⅲ B234-141-21	外国人教員による発展的英会話演習	日常的な内容の英会話で自己表現ができる		○	○		◎		○		○

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
英会話Ⅳ B234-141-22	外国人教員による発展的英会話演習	発展的な様々な内容の英会話で自己表現ができる		○	○		◎		○		○
メディア英語Ⅰ B134-141-17	ビデオや映画等のメディアを使った英語演習	映画やニュースなどで基本的な表現が理解できる		○			◎		○		
メディア英語Ⅱ B134-141-18	ビデオや映画等のメディアを使った英語演習	映画やニュースなどで少し発展的な表現が理解できる		○			◎		○		
メディア英語Ⅲ B234-141-27	ビデオや映画等のメディアを使った発展的英語演習	映画やニュースなどで多くの表現をそのまま理解できる		○			◎		○		
メディア英語Ⅳ B234-141-28	ビデオや映画等のメディアを使った発展的英語演習	映画やニュースなどで発展的な内容がそのまま理解できる		○			◎		○		
英語表現法Ⅰ B134-141-15	英作文や会話などの英語による自己表現演習	基礎的な英語を使って自己表現ができる		○			◎		○		○
英語表現法Ⅱ B134-141-16	英作文や会話などの英語による自己表現演習	少し発展的な英語を使って自己表現ができる		○			◎		○		○
英語表現法Ⅲ B234-141-25	英作文や会話などの英語による発展的自己表現演習	英語表現を使って自分の意見や考えを表現できる		○			◎		○		○
英語表現法Ⅳ B234-141-26	英作文や会話などの英語による発展的自己表現演習	少し発展的な英語表現を使って自分の意見や考えを表現できる		○			◎		○		○
英語読解法Ⅰ B134-141-13	様々な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、自分で様々な英文の内容が理解できる		○		○	◎		○		
英語読解法Ⅱ B134-141-14	様々な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、自分で少し発展的な英文の内容が理解できる		○		○	◎		○		
英語読解法Ⅲ B234-141-23	発展的な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、様々な英文の内容が理解できる		○		○	◎		○		
英語読解法Ⅳ B234-141-24	発展的な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、様々な発展的な英文の内容が理解できる		○		○	◎		○		
実践英語Ⅰ B134-141-31	TOEIC等の検定試験対策の演習	TOEIC等の検定試験で基礎的な問題の解答ができる					◎		○		
実践英語Ⅱ B134-141-32	TOEIC等の検定試験対策の演習	TOEIC等の検定試験で少し発展的な問題の解答ができる					◎		○		
実践英語Ⅲ B234-141-41	TOEIC等の検定試験対策の発展的演習	TOEIC等の検定試験で発展的な問題の解答ができる					◎		○		
実践英語Ⅳ B234-141-42	TOEIC等の検定試験対策の発展的演習	TOEIC等の検定試験で少し高度な問題の解答ができる					◎		○		

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
ドイツ語Ⅰ（基礎） B134-145-11	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅱ（基礎） B134-145-12	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅲ（読解） B234-145-21	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の読解力強化		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅳ（読解） B234-145-22	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の読解力強化		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅲ（表現） B234-145-31	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の表現力（作文力）強化		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅳ（表現） B234-145-32	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の表現力（作文力）強化		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅲ（総合） B234-145-41	中級ドイツ語能力養成	中級のテキストを用いたドイツ語の運用能力強化		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅳ（総合） B234-145-42	中級ドイツ語能力養成	中級のテキストを用いたドイツ語の運用能力強化		◎			◎		○		○
ドイツ語会話Ⅰ B234-145-51	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の会話能力の養成		◎	○		◎		○		○
ドイツ語会話Ⅱ B234-145-52	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の会話能力の養成		◎	○		◎		○		○
中国語Ⅰ（基礎） B134-147-11	発音の習得から始めて、入門時に必要とされる常用単語及び初歩的な文型を学び、未習外国語である中国語の学習の基礎を固める。常に双方向の授業を心がけ、中国語運用能力の基礎を作る。	中国語の発音を習得し、中国語のローマ字表記を読めるようにする。併せて、初歩的な常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な中国語を使えるようにする。		◎			◎		○		○
中国語Ⅱ（基礎） B134-147-12	中国語Ⅰで学んだ中国語の基礎の上にさらにステップアップを目指す。発音の習熟度をより高め、語彙及び理解でき、かつ使用できる文型を増やすことによって、中国語の運用能力を高める。	中国語の発音をより確実なものにし、より多くの常用語彙、重要文型を学び、中国語の構造に対する理解を深め、初歩的な中国語運用能力を身につけるようにする。		◎			◎		○		○
中国語Ⅲ（読解） B234-147-21	1年次に習得した中国語を基礎に、簡単な文章を読むことによって中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の読解力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の文章の読解力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK2級の合格を目指す。		◎			◎		○		○

教養教育科目 カリキュラムマップ												
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3						
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成						
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6	
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う	
中国語Ⅳ（読解） B234-147-22	中国語Ⅲ（読解）を受けて、様々な文章を読むことによって、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の読解力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の文章の読解力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 3級の合格を目指す。		◎			◎		○		○	
中国語Ⅲ（表現） B234-147-31	1年次に習得した中国語を基礎に、中国語の様々な表現を学んで中国語作文の練習をすることによって、中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の表現力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の表現力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 2級の合格を目指す。		◎			◎		○		○	
中国語Ⅳ（表現） B234-147-32	中国語Ⅲ（読解）を受けて、中国語の様々な表現を学んで中国語作文の練習をすることによって、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の表現力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の表現力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 3級の合格を目指す。		◎			◎		○		○	
中国語Ⅲ（総合） B234-147-41	1年次に習得した中国語を基礎に、「読み、書き、聴き、話す」練習を通して、常用語を身につけ、中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の運用能力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、「読み、書き、聴き、話す」といった中国語の運用能力を全体的に高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 2級の合格を目指す。		◎			◎		○		○	
中国語Ⅳ（総合） B234-147-42	中国語Ⅲ（総合）を受けて、「読み、書き、聴き、話す」練習を通して、使える常用語を増やし、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の運用能力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、「読み、書き、聴き、話す」といった中国語の運用能力を全体的に高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 3級の合格を目指す。		◎			◎		○		○	
中国語会話Ⅰ B234-147-51	発音の練習を重視し、ペアワークによる会話練習を行い、中国語の会話力を向上させる。併せて、作文と翻訳の練習も行い、中国語の総合的な運用能力を高める。	1年次で学んだ中国語の発音をより正確なものにし、あいさつなどの簡単な言葉から日常用いる初歩的な会話ができるようにする。中国政府公認の中国語検定試験HSK 2級の合格を目指す。		◎			◎		○		○	
中国語会話Ⅱ B234-147-52	中国語会話Ⅰを受け、引き続き発音練習を重視し、ペアワークによる会話をほぼ毎回行って、会話力をより向上させる。併せて作文と翻訳の練習にも力を入れ、中国語の総合的な運用能力を高める。	中国語をより正確に発音できるようにし、より多くのことを表現できるよう会話力を高める。会話力と同時に、作文能力や読解力も向上させ、中国政府公認の中国語検定試験HSK 3級の合格を目指す。		◎			◎		○		○	
フランス語Ⅰ（基礎） B134-146-11	綴りと音の関係を理解し、フランス語文の音読を可能にする。基本文型を暗記し、フランス語のリズムを覚える。	フランス語文を単独で音読できるようにし、挨拶や買い物などの簡単な日常会話に慣れる。		◎			○	◎		○		○
フランス語Ⅱ（基礎） B134-146-12	人称の概念を理解し、基本動詞の活用を学習する。辞書を利用して平易なフランス語文を訳読し、暗記する。	会話文や説明文を、辞書を用いて単独で読解する。人物の会話から、フランス人の基本となる物の考え方を理解する。		◎			○	◎		○		○
フランス語Ⅲ（読解） B234-146-21	フランス語の会話文や比較的阅读しやすい文学作品の文章を訳読し、その中の基本的な表現を暗記する。	テキストの各章のテーマにそって、登場人物による会話の機微を捉える。フランス語独特の言い回しに注意を払う。		◎			○	◎		○		○

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
フランス語Ⅳ（読解） B234-146-22	会話文の中で描かれる日常生活のユーモアを読み解く。人生の指針となるような文章は、暗記して覚える。	会話文の登場人物になったつもりで、情感をこめて文章を音読する。共感を覚えた表現は、反復して忘れないようにする。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅲ（表現） B234-146-31	フランス語の会話文を読みながら、その口語表現が持っている微妙なニュアンスを読み取る。使用頻度の高い文は暗記する。	フランス語の会話文の中にちりばめられている、エスプリの効いた表現を覚え、自分の人生に当てはめてみる。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅳ（表現） B234-146-32	フランス語の文学作品が描き出す人間感情の機微を読み取るようにする。感動した文は、暗記して心に留める。	文学作品の中に出てくる、感動的で重要な意味合いの文を、何度も反復しながら味読する。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅲ（総合） B234-146-41	短文の反復や言い換えにより、実生活に結びついたフランス語の表現を確実に身につける。	フランスで生活するつもりになって、フランス語でフランス人に意志を伝えるつもりで、フランス語会話に集中する。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅳ（総合） B234-146-42	練習問題による言い換えにより、実生活に結びついたフランス語の構造を確実に身につける。	フランス語の基本的な例文を覚えると同時に、日本語からフランス語への言い換えも行えるようにする。		◎		○	◎		○		○
フランス語会話Ⅰ B234-146-51	フランス語の発音の仕方、身振り、手振りなどの動作、顔の表情などを、フランス人自身から直に学ぶ。	フランス人の発音、表情、動作などを、素直に反復することから始めて、外国人と対話する楽しみを知る。		◎		○	◎		○		○
フランス語会話Ⅱ B234-146-52	テキストの意味を理解するだけでなく、片言の語彙であっても、自分からフランス語を口に出して言ってみる。	進んで教師にフランス語で話しかけるようにする。文法を気にするよりも、身振りや表情を交えてコミュニケーションを取る。		◎		○	◎		○		○
韓国語Ⅰ（基礎） B134-148-11	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、韓国語の基本的な構造について理解することを目指す。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅱ（基礎） B134-148-12	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、韓国語の基本的な構造について理解することを目指す。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅲ（読解） B234-148-21	韓国語Ⅰ・Ⅱを履修した人を対象にし、レベルアップした基礎文法を学ぶ。コミュニケーションの訓練とともに、文法と構文の理解、表現力を身につける。また、旅行やビジネス場面でよく使われる表現を学ぶ。	韓国語の基礎文法を踏まえ、より豊かな基礎会話を養うことを目標にする。徐々に語彙・文法項目を増やしていき、韓国語で書かれた文章に対する理解力を高める。		◎	○		◎		○		○

教養教育科目 カリキュラムマップ										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3				
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成				
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う
韓国語Ⅳ（読解） B234-148-22	韓国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修した人を対象にし、中級を目指して実践的な表現を学ぶ。定型表現の学習は、ものの描写、要求・依頼・主張など様々な場面にふさわしい構文と語彙を習得し、言語運用力を養う。	中級レベルの文法や語彙を学び、韓国語としてより自然で円滑なコミュニケーションができるようにする。より豊かな言語表現力を養い、韓国語文章に対する「読む・書く」能力の上達を目標にする。		◎	○		◎		○	
韓国語Ⅲ（表現） B234-148-31	文字を覚えた学生を対象にし、授業計画に基づく韓国語の基礎知識と運用力を養成する。「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランスよく総合的に身につけることを目指す。韓国語圏の世界の諸相を理解し、国際的な視野を広める。	韓国語の文字と発音を習った学生を対象とし、基本文の作り方を練習する。そのために、基本文法と単語の学習を充実に行う。これに基づいて、実際の現場で使われる多様な文の構造及び会話表現の習得を目標とする。		◎	○		◎		○	
韓国語Ⅳ（表現） B234-148-32	韓国語の文字を覚えた学生を対象にし、授業計画に基づく韓国語の基礎知識と運用力を養成する。「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランスよく総合的に身につけることを目指す。韓国語圏の世界の諸相を理解し、国際的な視野を広める。	韓国語の文字と発音を習った学生を対象とし、基礎的な文の作り方を練習する。そのために、基本文法と基礎単語の学習を充実に行う。実際の現場で使われる多様な文の構造及び会話表現の習得を目標とする。		◎	○		◎		○	
韓国語Ⅲ（総合） B234-148-41	韓国語Ⅰ・Ⅱを履修した学生を対象にし、ハングル検定試験5級に合格するために必要な発音の仕組み、基本文法などを学習していく。文法事項や語句、日常会話文等を繰り返し練習し、ハングル検定試験5級合格に必要な基本的な能力を身につける。	基本文法については韓国語Ⅰ・Ⅱで学習した復習から始め、ハングル検定試験5級合格のために必要な発音と文法を学び、自ら学習できるようにする。基本文法と語句、日常会話文などの反復学習を通して習得していく。また練習問題と課題を通して、その定着と更なる応用発展を図る。		◎	○		◎		○	
韓国語Ⅳ（総合） B234-148-42	ハングル検定試験5級に合格するため、基本文法、語句、日常会話文などを学習する。また11月に実施されるハングル検定試験に向けて実際の過去問を用いて練習する。適宜、試験に必要な発音や文法、語彙に関する解説を行う。	ハングル検定試験5級に合格する、あるいは5級に挑戦できる能力を身につけることを目標とする。すでに5級を取得した学生にとっても、次のステップアップにつながる足場を固める場となることを目標とする。		◎	○		◎		○	
韓国語会話Ⅰ B234-148-51	韓国語の読み書きができ、文章の作成が出来るレベルに達していても、会話ができるとは限らない。ペアワークやグループワークを多く取り入れ、学んだ表現を使った会話文を用いて実際に話してみるにより、積極的に話す機会を与える。	ハングルの読み書きが確実にできるようにする。基礎的な文法を身につけ、あいさつ、自己紹介、身の回りのことについて自分の言いたいことを伝え、相手とコミュニケーションが取れるようにする。		◎	○		◎		○	
韓国語会話Ⅱ B234-148-52	韓国語の読み書きができ、文章の作成が出来るレベルに達していても、会話ができるとは限らない。ペアワークやグループワークを多く取り入れ、学んだ表現を使った会話文を用いて実際に話してみるにより、積極的に話す機会を与える。	約700個の単語をもとに、初級レベルで必要な会話のスキルを身につけるようにする。その上で日本語とは異なる韓国語特有の会話の仕方を学習し、その背景にある文化についても考察できるようにする。		◎	○		◎		○	
スペイン語Ⅰ（基礎） B134-149-11	初めて学ぶ人を対象にグローバル言語の1つであるスペイン語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。スペイン語の常用単語及び初歩的な文型を学び日常生活で使える簡単な会話を学習する。	スペイン語の常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な日常会話を使えるようにする。		◎	○		◎		○	

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
スペイン語Ⅱ（基礎） B134-149-12	スペイン語Ⅱ（基礎）で学んだスペイン語のさらなるステップアップを目指す。単語の理解や発音の習熟度をより高め、かつ使用できる文型を増やすことによって、スペイン語の運用能力を高める。	スペイン語の発音をより確実なものにし、多くの常用単語、重要文型を学び、初歩的なスペイン語運用能力を身につける。		◎	○		◎		○		○
スポーツ科学Ⅰ B115-592-01	運動の実践により、生涯健康の基礎作りを目指す。運動の楽しさや健康の価値・意味を理解し自己管理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精神的、社会的な健康を獲得する。学生同士の協調性や連帯感を理解させ、豊かな人間性を高めていく。	○	○	○	○	△	△	△	◎	◎
スポーツ科学Ⅱ B115-592-02	運動の実践により、生涯健康の基礎作りを目指す。運動の楽しさや健康の価値・意味を理解し自己管理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精神的、社会的な健康を獲得する。学生同士の協調性や連帯感を理解させ、豊かな人間性を高めていく。	○	○	○	○	△	△	△	◎	◎
スポーツ科学Ⅲ B235-592-03	生涯健康の応用と発展を目的とする。運動習慣の継続と生涯健康スキルを発展させる。	趣向や目的に適した種目を選択し、個人能力に応じたレベルでスポーツ実践する。「生涯健康の理論と実践の統合」を目標とする。	○	○	○	○	△	△	△	◎	◎
スポーツ科学Ⅳ B235-592-04	生涯健康の応用と発展を目的とする。運動習慣の継続と生涯健康スキルを発展させる。	趣向や目的に適した種目を選択し、個人能力に応じたレベルでスポーツ実践する。「生涯健康の理論と実践の統合」を目標とする。	○	○	○	○	△	△	△	◎	◎
海外事情Ⅰ B139-852-01	カナダ、オーストラリア、イギリス、アイルランド、台湾の各国の提携校でホームステイ先や学生宿舎に滞在しながら、語学力を磨いたり現地の文化を経験したりする。	渡航先の大学で開講される授業やプログラムを通して、語学力を向上させる。幅広く異文化に触れることで、多様な価値観や考え方を理解できるようになる。	◎	◎	◎	○	◎	△	△	△	◎
海外事情Ⅱ B139-852-02	カナダ、オーストラリア、イギリス、アイルランド、台湾の各国の提携校でホームステイ先や学生宿舎に滞在しながら、語学力を磨いたり現地の文化を経験したりする。	渡航先の大学で開講される授業やプログラムを通して、語学力を向上させる。幅広く異文化に触れることで、多様な価値観や考え方を理解できるようになる。	◎	◎	◎	○	◎	△	△	△	◎
海外事情Ⅲ B139-852-03	マレーシア、台湾、韓国の提携校で実施されるワークショップや文化交流に参加し、提携校の学生や各国の留学生と協力して共通の課題に向き合うことで、グローバル社会に役立つコミュニケーションと多文化共生に対する理解を深める。	研修先の学生や教員との交流を深めることで、現地の事情や文化への理解を深めることができる。研修先での国際経験を通じて、グローバル社会で活躍できる人材となる基礎を身につける。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
海外事情Ⅳ B139-852-04	マレーシア、台湾、韓国の提携校で実施されるワークショップや文化交流に参加し、提携校の学生や各国の留学生と協力して共通の課題に向き合うことで、グローバル社会に役立つコミュニケーションと多文化共生に対する理解を深める。	研修先の学生や教員との交流を深めることで、現地の事情や文化への理解を深めることができる。研修先での国際経験を通じて、グローバル社会で活躍できる人材となる基礎を身につける。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎・・・教育目標達成のために、特に重要な事項

○・・・教育目標達成のために、重要な事項

△・・・教育目標達成のために、望ましい事項

商学部新カリキュラムマップ

商学部商学科の教育目標												
商学部は、教育目標を「ビジネス・ヒューマン・バリュー（Business Human Value)の創造」とし、「ビジネス・ヒューマン・バリュー」をもつ人材の育成を行っている。「ビジネス・ヒューマン・バリュー」とは、①本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」を深く理解し、高い倫理観と豊かな人間性をもつこと、および②ビジネスに関する専門的な知識や技能を修得し、ビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力を身につけていること、を意味する。												
商学部商学科 カリキュラムマップ				商学部商学科のディプロマポリシー（DP）								
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
商学入門 C131-239-01	この授業では、愛知学院大学商学部で4年間に何を学ぶのか、3つのコース(流通・マーケティング、会計・金融、ビジネス情報)のそれぞれにおいてどのようなことを学ぶのかを理解する。	商学部での学修内容に関心を持ち、将来、どのようなコース(専攻)を選択するのかを決定する際に役立つ、各分野における最も基礎的な知識を身につける。	△	◎	△	△	△	△	△	△		
経済学Ⅰ C111-232-01	経済学における主要分野の一つであるミクロ経済学を学びます。具体的には、経済学の基本的な概念、消費者と生産者の行動および意思決定、市場メカニズムを通じた価格や取引量の決まり方などを理解します。	ミクロ経済学についての知識を修得し、その知識を用いて市場経済に関する諸問題を考察できる力を身につけます。		◎				△				
経済学Ⅱ C111-232-02	経済学における主要分野の一つであるマクロ経済学を学びます。具体的には、GDP、物価、雇用、経済政策などを理解します。	マクロ経済学についての知識を修得し、その知識を用いて経済全体に関する諸問題を考察できる力を身につけます。		◎				△				
経営学Ⅰ C111-238-01	経営学Ⅰでは、経営学の基本的な知識、その中でも特に経営戦略論について、代表的な理論(例えば、アンゾフやポーターの理論など)を学修します。経営戦略は、あらゆるビジネスにおいて、最初に考えなければならない課題であり、そして経営戦略論は、様々な学問分野においても役立つ思考方法です。どの企業も活動領域を決め、成長と競争の戦略を立てています。こうした経営戦略の考え方の背景には、どのような理論があるのかを学修します。	基本的な戦略論を学ぶことにより、ビジネス社会の中で生きていく上での、戦略的思考や、問題解決力を身につけることができる。		◎								

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報の関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
経営学Ⅱ C111-238-02	経営学Ⅱでは、経営学の基本的な知識、その中でも特に経営組織論について、代表的な理論(例えば、科学的管理法やリーダーシップ論など)を学修します。戦略を練ったら、次は組織づくりが重要です。というのは、実際に動くのは組織の中に配置された現場の従業員だからです。優れたリーダーが、リーダーシップを発揮して、組織メンバーのやる気を引き出し、組織を動かしていく。そのためには、どのような理論があるのかを学修します。	基本的な組織論を学ぶことにより、ビジネス社会の中で生きていく上での、組織的行動や思考を身につけることができる。		◎								
流通論Ⅰ C111-239-01	本講義のテーマは流通に関する基礎概念を学ぶことです。流通という言葉の意味から始まり、それにまつわる様々な用語の解説をします。私たちの生活にとって、流通は重要な経済活動の一つですが、そこに含まれる活動にはどのようなものがあるのか取り上げていきます。	流通に関する基礎的な用語の意味を理解することができる。また、流通に含まれる様々な活動の存在を知り、それらを整理して理解することができる。		◎	△	△						
流通論Ⅱ C111-239-02	本講義のテーマは、流通活動を担当している流通機関の種類と役割、それを規制する政策について学ぶことです。生産者、小売業者、卸売業者など、自分たちに身近な企業が流通においてどのような役割を果たしているのか。また、自らが消費者として流通にかかわっている点も学ぶことになります。	生産者、小売業者、卸売業者、消費者など流通機関の種類と役割について理解することができる。とりわけ、商業者(小売業者、卸売業者)の社会的存在意義について自分なりに説明できるようになる。		◎	△	△						
会計学Ⅰ C211-240-01	会計とは、経済主体の経済活動について、関わりを持つ人々が、事情を分かった上で判断や意思決定ができるように、彼らに説明する社会的な行為である。この講義では、会計とは何かから始め、会計の基本的な知識と考え方を学ぶ。	会計とは何かということを説明できるようにする。会計の基本的な考え方について述べるができるようにする。会計情報の役割を説明できるようにする。		◎			△					
会計学Ⅱ C211-240-02	企業の経営成績や財政状態を明らかにするために決算の際に作成するのが財務諸表である。財務諸表が利害関係者に伝達され、判断や意思決定に利用される。この講義では、財務諸表が作成され公表されるシステムや財務諸表の利用などについて学ぶ。	会計原則・基準について説明できるようにする。財務諸表を読んで企業との関わりに関する判断や意思決定をできるようにする。会計制度について説明できるようにする。		◎			△					

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
情報リテラシーⅠ C111-601-01	本講義では、レポート(報告書)や卒業論文など、文書を作成する。本科目では、情報処理の基礎(機器、マナー、OS)を学び、ワープロソフト(Word)を使って文書作成を演習する。	コンピュータを利用するための基礎がわかる。ワープロソフトを利用して、文書作成ができる。MOS(マイクロソフト オフィス スペシャリスト)試験に合格する。		◎					△	△		
情報リテラシーⅡ C111-601-02	本講義では、情報受信者に情報を効率的に説明する目的で、データを集めて分析する。表計算ソフト(Excel)を使って、データ集計やグラフ作成を演習する。	一般的な表計算ソフトが使えるようになる。MOS(マイクロソフト オフィス スペシャリスト)試験に合格する。		◎					△	△		
マーケティング論Ⅰ C231-239-01	企業のマーケティング活動とは、「動的に変化していく市場や環境に対し、企業が創造的に適応していく対市場活動」である。この授業では、マーケティング論の体系のうち、基礎的・総論的な内容について学ぶ。	ビジネスにおいて必要とされる、マーケティングの基礎的な概念や理論を身につけることができ、将来、自らマーケティング戦略を策定し、実行するための基本的な能力を修得することができる。			◎	○						
マーケティング論Ⅱ C231-239-02	企業のマーケティング活動とは、「動的に変化していく市場や環境に対し、企業が創造的に適応していく対市場活動」である。この授業では、マーケティング論の体系のうち、各論的な内容について学ぶ。	ビジネスにおいて必要とされる、マーケティングの基礎的な概念や理論を身につけることができ、将来、自らマーケティング戦略を策定し、実行するための基本的な能力を修得することができる。			◎	○						
流通チャネル論Ⅰ C231-239-03	流通チャネルの構成員である、生産者、卸売業者、小売業者、消費者それぞれの流通への関りやそこの役割を学ぶ授業です。とりわけ、流通の主力である卸売業者と小売業者に焦点を当てます。卸売業者と小売業者が社会で果たしている役割を理解することが目標です。	流通チャネルを構成する各機関のうち、とりわけ重要な卸売業者や小売業者がなぜ社会に存在し、それがどのように社会で役に立っているのか説明できるようになることが目標です。			◎	△						
流通チャネル論Ⅱ C231-239-04	流通チャネルの中心的構成員である商業者の経営問題について学ぶ授業です。とりわけ、我々に身近な小売業者のマーケティングについて焦点を当てます。小売業者の顧客対応、生産者や卸売業者との関係性を取り上げていきます。	小売業者のマーケティングを中心とした商業の経営問題を理解することによって、将来商業に関連する仕事に従事することに向けた知識基盤を形成することが目標です。			◎	△						

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
グローバル・ビジネス論Ⅰ C231-239-05	国際ビジネスの基礎的な事項を修得できるようにする。	国際ビジネスを展開する多国籍企業がいかなるビジネスとマーケティングをおこなっているのかを明らかにし、正確な理解と実務へ応用できるようにすることに繋げるのが本科目の目標です。		○	○	◎					○	
グローバル・ビジネス論Ⅱ C231-239-07	国際ビジネスの応用的な事項を修得できるようにする。	国際ビジネスを展開する多国籍企業が具体的なビジネスとマーケティング戦略行動をおこなっているのかを明らかにし、理解、実務へ具体的な事例へと応用できるようにすることに繋げるのが本科目の目的です。 講義内容は国際ビジネス論Aを履修していない学生には理解が難しい。		○	○	◎					○	
初級簿記Ⅰ C131-240-01	簿記とは、企業の様々な経済活動を、数値として記録・計算・整理するための手段であり、これから皆さんが学修する商学や会計学とも関係するものです。本講義科目では、簿記の基本的な考え方や手続きについて学修します。	本講義科目での授業および計算問題演習を通じて、簿記(特に複式簿記)の基礎的な事項の知識修得を目標とします。具体的には、日商簿記検定3級レベルの知識の修得を目指します。					◎					
初級簿記Ⅱ C131-240-02	簿記とは、企業の様々な経済活動を、数値として記録・計算・整理するための手段であり、これから皆さんが学修する商学や会計学とも関係するものです。本講義科目では、簿記の基本的な考え方や手続きについて学修します。	本講義科目での授業および計算問題演習を通じて、簿記(特に複式簿記)の基礎的な事項の知識修得を目標とします。具体的には、日商簿記検定3級レベルの知識の修得を目指します。					◎					
金融論Ⅰ C231-236-01	金融に関する制度を中心に学びます。具体的には、貨幣、金利、金融機関の機能、各種金融商品の特徴など、金融の基本的な仕組みを理解します。	金融制度についての知識を修得し、その知識を用いて金融の意義や金融に関する諸問題を考察できる力を身につけます。						◎				
金融論Ⅱ C231-236-02	金融に関する理論を中心に学びます。具体的には、資金調達者と資金提供者の間における資金やリスクの移転についての仕組みや考え方を理解します。	金融理論についての知識を修得し、その知識を用いて金融の意義や金融に関する諸問題を考察できる力を身につけます。						◎				

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
財務会計論Ⅰ C331-240-01	企業の経営成績、財政状態およびキャッシュ・フローの状況といった財務情報を企業外部の利害関係者に伝達するため利用される財務諸表の作成にかかわるルールとその背景にある会計理論を中心に学びます。	(1)財務諸表の作成において利用される専門的なルールを説明できること (2)財務諸表において利用される専門的な用語を説明できること(3)財務諸表を読解し、企業の財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローの状況を専門的に分析できること					◎					
財務会計論Ⅱ C331-240-02	企業の経営成績、財政状態およびキャッシュ・フローの状況といった財務情報を企業外部の利害関係者に伝達するため利用される財務諸表の作成と読解にかかわる論点を学びます。	(1)財務諸表の作成において利用される専門的なルールを説明できること (2)財務諸表において利用される専門的な用語を説明できること(3)財務諸表を読解し、企業の財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローの状況を専門的に分析できること					◎					
管理会計論 C331-240-03	管理会計は企業などの組織の管理には必要不可欠な理論と技術ですが、「何を」「どのように」測定するのが重要となります。本講義ではこの観点から管理会計に関する基本的な事項を網羅的に学修します。	本講義科目では、現代でも多くの組織において用いられている管理会計（いわゆる伝統的管理会計）および、近年（1990年代以降）の企業環境の変化に応じた管理会計の展開に関する基礎的な知識の修得を目標とします。					◎					
情報社会論 C231-902-01	本講義では、ビジネス、生活、社会、組織一般で利用されている情報システム、ネットワーク、情報の光と影を学ぶ。	身近な情報システムの理解を通じて、情報化社会の進展に対応する力を養う。							○	◎		
情報倫理 C231-902-02	情報化社会、特にビジネスの各場面でインターネット・情報を取り扱う際には、特有の問題が生じる。本講義では、これらの問題に適切に対処するために必要な情報倫理に関する知識を学ぶ。具体的には、情報倫理、情報化社会、インターネット利用などに関する基礎的な事項を学んだうえで、インターネット・情報に関する様々なモラルやルール、セキュリティを学ぶ。	①情報化社会において必要な情報倫理の概要を説明することができる。 ②ビジネスにおいてインターネット・情報を取り扱う際に必要なモラルやルール、セキュリティを説明することができる。							○	◎		
情報産業論 C231-902-03	企業でどのようにITが活用されているのか、どのような人材が求められているのかについて理解できるようになる。	情報産業論では、私たちの住む社会の中でどのように産業が情報によって支えられているのかについて言及していきます。							◎	◎		

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
AIとビジネス C231-239-09	本講義では、まずAI（人工知能）の基本的な考え方およびAIを生み出す技術（機械学習やディープラーニング）について学ぶ。そのうえで、各種産業や各種領域におけるAI活用の事例を紹介するとともに、AIを活用した新しいビジネスやサービスについて考察を行う。	AIのしくみや技術および活用事例について理解できるとともに、AIの新たな活用について考察を行うことができる。							◎	◎		
ビジネス情報論Ⅰ C231-239-10	本講義のテーマは、インターネット通販を中心としたeコマース（電子商取引）の仕組みを学ぶことです。インターネット通販を中心としたeコマースの捉え方として、情報ネットワークの進展として捉えるアプローチと、流通の進化として捉えるアプローチが考えられます。本講義では、流通論の応用編として、それを小売流通の一形態として捉えて仕組みを解説していきます。	インターネット通販の仕組みを理解することができる。 インターネット通販の事例を踏まえて、それに関連する企業のマーケティング戦略に関する知識を得ることができる。 インターネット通販を利用する消費者の行動に関する理論を理解することができる。			◎					◎		
ビジネス情報論Ⅱ C231-239-11	情報システム論の流通に関する分野を中心にしながら考察し、小売業の販売時点情報システムを学んでゆきます。	情報システム論の基礎理解を通じて、流通業の情報システム構築の力を養うことができる。			◎					◎		
データサイエンス入門 C231-603-01	統計学の応用知識やデータサイエンスの基礎知識を学び、それらをExcelでどのように扱うかを学ぶ。	統計検定2級相当の統計の応用知識や、データサイエンスに必要な知識やスキルを身につけ、それらをExcelで処理することができる。		○					◎	◎	○	
ビジネス統計学 C231-603-02	統計学の基礎知識を学び、それらをExcelでどのように扱うかを学ぶ。	統計検定4級・3級相当の統計の知識を身につけ、それらをExcelで計算することができる。		○					◎	◎	○	
リサーチ方法入門 C231-239-12	研究（大学の集大成である卒業研究や商学部ビジネスカンファレンスでの研究報告を含む）を行うにおいて不可欠となる課題設定、仮説構築、検証方法の基礎、さらにはプレゼン方法を学修します。	適切な課題や仮説を構築することができ、仮説の検証に適した分析方法を用いて、研究目的を達成することができるようになります。加えて、聞き手の理解を促すプレゼン技術も修得します。		○							◎	○

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
流通政策Ⅰ C331-239-01	本講義では、流通政策の総論と競争政策を学ぶ。第一に、流通政策の基礎的な概念や近年の転換を理解する。第二に、流通政策のうち近年強化改正され、企業活動で重要性が高まっている競争政策を理解する。特に、競争政策が企業の活動に与える影響や、企業の対応について特に理解を深める。	①流通政策の根拠・目的・枠組みを説明することができる。 ②競争政策の根拠・目的・枠組みと企業活動に対する具体的な規制内容を説明することができる。		○	◎							
流通政策Ⅱ C331-239-02	本講義では、流通政策Ⅰで学んだ事項を基礎として流通政策の各論を学ぶ。具体的には、中小小売商業に対する振興政策、商業まちづくり政策、その他の流通政策を理解する。特に近年の大規模小売業者の成長・上位集中化や中小小売業者の衰退といった流通部門の変化と、これらの政策の変化との関係について理解を深める。	①振興政策、商業まちづくり政策、その他の流通政策の根拠・目的・枠組みを説明することができる。 ②流通部門の変化と流通政策の変化を関連付けて説明することができる。		△	◎							
製品戦略論 C331-239-03	この講義は、広く企業が競争してきた製品に関して有形・無形の役割を果たしていること、今日の企業の競争にはブランドが企業経営において中核的な役割のひとつを担っていくことが理解する。	この講義の到達目標は、マーケティング論の中で製品戦略を位置付けること、製品戦略がどのように顧客ニーズを充足しているかを理解すること、そして、異業種間の連携によって背品戦略が有効となることを身につけることにある。			◎	△						
ブランド論 C231-239-08	この講義では、戦略的なブランド論の理解を目的とする。戦略的な視点からブランドを捉えることは、日々の生活の中でのイメージ、サービスに関する付加価値、そして持続的な発展競争優位を遂げることを学んでいく。	この講義の到達目標は、広く企業が競争してきた製品に関して有形・無形の役割を果たしていること、今日の企業の競争にはブランドが企業経営において中核的な役割のひとつを担っていくことが理解できることにある。			◎	△						
消費者行動とマーケティング戦略 C231-239-06	本講義では、適切なマーケティング戦略の策定に役立つ、①消費者の心理的、行動的側面に関する理論や概念、および②消費社会に関する主要な見解について学ぶ。	将来、マーケティング実務においてマーケティング戦略を自ら策定し、実行するために必要な消費者行動論の知見（①消費者の心理的、行動的側面に関する知見、②消費社会についての知見）を身につけることができる。			◎	△						

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
サービス・マーケティング論 C331-239-04	本講義ではサービス業のマーケティングについて総合的に学修します。サービスの概念や特性といった基本的な内容から今日的な研究課題に関してサービス・マーケティングの理論と手法について学びます。	サービス・マーケティング論の概念や理論に関する知識を体系的に修得することができる。サービス業において実践されているマーケティング活動について分析、考察する力を身につけることができる。			◎	△						
マーケティング・コミュニケーション論 C331-239-05	本科目では、広告主(広告料金を支払って広告を掲出する主体のこと)の立場から、マーケティング・コミュニケーション戦略、および広告戦略を自ら策定し、実行するための理論や手法について学ぶ。	広告主の立場からマーケティング・コミュニケーション戦略、および広告戦略を自ら策定し、実行するための基礎的な能力を養うことができる。			◎	△						
国際商務論Ⅰ C331-239-06	国際取引の典型である貿易取引を、国民経済間の経済交流活動としてマクロの視点から学ぶ。特に、日本の貿易取引の現状および動向について、貿易統計や国際収支統計を始めとする各種の統計資料や映像資料に基づいて理解してゆく。	日本の貿易取引の現状を理解することで、将来こうした分野にすんだ者にとって、自社の行動を的確に分析することができる。また、戦後70年間の日本の貿易取引の動向を理解することで、今後の動向を予測することができる。				◎					△	
国際商務論Ⅱ C331-239-07	国際取引の典型である貿易取引を、企業や個人間の取引活動としてミクロの視点から学ぶ。具体的に展開する方法・技術・手続きといった実務的側面と、貿易契約に関する商慣習を中心とする売買理論的側面の2面から理解してゆく。	国際取引の典型である貿易取引の実務的側面と売買理論的側面とを理解することで、将来こうした海外の業者との取引に関わる者にとって、自社の取引内容を論理的に分析し、自社の取引活動を的確な方向へ進めることができる。				◎					○	
グローバル・マーケティング論 C331-239-08	経済のグローバル化に伴い、ビジネスは多面的に展開される。本講座では、国際マーケティングについて、概要と諸理論に関する基礎と、その応用事例を学ぶことで、マーケティングの全体像を理解する。	国際情勢における経済の仕組み、経営活動におけるマーケティングの位置づけを理解することにより、地域社会における多様性に考えを及ぼすことができる。これにより問題点の発見、原因の解析、その解決策について多面的に考察する態度を養うことができる。			○	◎						
貿易政策Ⅰ C331-239-09	WTO（世界貿易機関）は、国際貿易に関するルールを取り扱う唯一の国際機関であり、現在、日本を含む160以上もの国々が加盟しています。この講義では、WTOとそれが規定する主要な貿易ルールや通商上の紛争の解決方法を学びます。	今日の国際貿易ルールの基本的な概要を正しく理解することができるようになります。また、「保護主義的な貿易政策」「関税措置」「スーパー 301条」など、今後の日米貿易のキーワードとなる可能性の高い用語と、その歴史的背景を理解できるようになります。				◎						

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
貿易政策Ⅱ C331-239-10	WTO（世界貿易機関）は、国際貿易に関するルールを取り扱う唯一の国際機関であり、現在、日本を含む160以上もの国々が加盟しています。この講義では、1986年から1994年にかけて実施されたウルグアイ・ラウンド交渉で初めて策定された新しい貿易ルールに焦点を当てます。	EPAやTPPといった地域貿易協定や、貿易と環境問題そして貿易と公衆衛生の問題など、ニュース等で頻繁に耳にする旬な話題の「基礎」を正しく理解することができるようになります。また、2014年から開始された地理的表示保護制度についても詳しく学ぶことができます。				◎						
経営管理論 C331-238-01	この講義では、リーダーシップ論やメンタリングの理論、モチベーション論、コミュニケーション論について勉強します。いわゆる人のマネジメントの理論で、職場で働いてくのに必要不可欠な知識です。	リーダーシップについての知識、チームワークに必要なコミュニケーションの知識、自らを律することができるモチベーションの知識を獲得することができます。		◎								
経営組織論 C231-238-01	この講義では、組織のかたちや組織形態の変化、さらには管理論の古典(伝統的組織論、人間関係論、近代組織論)を学修します。これらの知識は、現在のマネジメントの考え方の基底にある知識です。	組織のかたちや変化、古典的な管理論を学ぶことにより、現代の企業組織と企業社会に関する知識を修得することができます。		◎								
中級簿記(商業簿記)Ⅰ C131-240-03	日商簿記検定2級の商業簿記に相当する簿記の知識を学修します。具体的には、固定資産や有価証券の期末評価等の基礎的な論点を学修します。	日商簿記検定2級(商業簿記)レベルの基礎的な知識を修得します。					◎					
中級簿記(商業簿記)Ⅱ C131-240-04	日商簿記検定2級の商業簿記に相当する簿記の知識を学修します。具体的には、連結会計等の応用的な論点を学修します。	日商簿記検定2級(商業簿記)レベルの応用的な知識を修得します。					◎					
中級簿記(工業簿記)Ⅰ C131-240-05	本講義科目では、原価の計算について学修します。本講義では主に、原価計算を学ぶうえで知っておくべき基礎的な知識や、財務諸表作成にも関わる原価情報の計算(実際原価計算)について学修します。	本講義科目での授業および計算問題演習を通じて、原価の種類や計算方法に関する日商簿記検定2級(工業簿記)レベルの知識の修得と、実際にそれらの原価計算ができるようになることを目標とします。					◎					
中級簿記(工業簿記)Ⅱ C131-240-06	本講義科目では、原価の計算について学修します。本講義では主に、標準原価計算や直接原価計算など、経営上の判断の際に有用な原価計算について、その具体的な手法や活用のされ方について学修します。	本講義科目での授業および計算問題演習を通じて、原価の種類や計算方法に関する日商簿記検定2級(工業簿記)レベルの知識の修得と、実際にそれらの原価計算ができるようになることを目標とします。					◎					

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
上級簿記Ⅰ C131-240-07	日商簿記検定1級の商業簿記・会計学および税理士試験簿記論のレベルに相当する簿記・会計の知識を学修します。具体的には、簿記一巡の手続き、商品売買、棚卸資産、収益認識、税効果会計、現金預金などといった内容について学修します。	日商簿記検定1級の商業簿記・会計学および税理士試験簿記論のレベルに相当する簿記・会計の知識をマスターすること					◎					
上級簿記Ⅱ C131-240-08	日商簿記検定1級の商業簿記・会計学および税理士試験簿記論のレベルに相当する簿記・会計の知識を学修します。具体的には、有価証券、外貨換算会計、デリバティブ取引、有形固定資産、リース取引などといった内容について学修します。	日商簿記検定1級の商業簿記・会計学および税理士試験簿記論のレベルに相当する簿記・会計の知識をマスターすること					◎					
原価計算論 C231-240-01	企業を管理していくうえでは、管理のために「何を」、「どのように」測定・計算するのかということが重要となります。本講義科目ではこの観点から、企業の管理のために行われている様々な原価計算を網羅的に学修します。	本講義科目では、企業の管理のために行われている様々な原価計算に関する知識の修得と、実際にそれらの原価計算ができるようになることを目標とします。					◎					
国際会計論Ⅰ C331-240-04	国際会計の目標は「どの国で作られたものであっても、国際的に理解され、情報の利用者が、適切な判断と意思決定ができるような会計情報をつくりだし、伝達すること」である。その会計情報は「一組の国際的な会計基準」に基づいて作成される必要がある。この講義では、一組の国際的な会計基準の必要性和各国の会計システムについて学修する。	一組の国際的な会計基準の必要性について説明できるようにする。各国の会計システムについて説明できるようにする。国際的な会計基準の調和化および統合について説明できるようにする。				○	◎					
国際会計論Ⅱ C331-240-05	国際会計の目標は「どの国で作られたものであっても、国際的に理解され、情報の利用者が、適切な判断と意思決定ができるような会計情報をつくりだし、伝達すること」である。その会計情報は「一組の国際的な会計基準」に基づいて作成される必要がある。この講義では、一組の国際的な会計基準の具体的な現れである国際会計基準審議会による国際財務報告基準の内容とそれによる国際的統合について学修する。	会計基準の国際的調和化から統合への歩みについて説明できるようにする。国際的会計基準の設定機関について説明できるようにする。IFRSに準拠して作成された財務諸表を読むことができるようにする。国際的な会計基準の統合によってより良き社会が実現できるかについて自分の考えを述べるができるようにする。				○	◎					

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
税務会計論 C331-240-07	税法独自の思考やその思考を反映した会計処理、さらに、課税所得の計算方法、国際課税について学修します。	税務会計における課税所得概念と財務会計における利益概念との相違を理解できるようになります。加えて、課税所得計算や税額計算の知識を獲得することができます。					◎					
会計監査論 C331-240-08	財務諸表の信頼性を保証する会計監査という業務について、①その意義・目的、②会計監査を担当する者（監査人）の資格・要件、③監査実施の手順、④監査の結果の伝達手段を学びます。	会計監査を受講することによって次のことができるようになります。 ①財務諸表が信頼できる内容を持つものかどうか、どの程度の信頼性をもっているのかの判断。 ②不正会計が行われた場合、その責任が誰にあるのかについての適切な判断。 ③株式会社の仕組みと、株式会社が成立する要件の理解。 ④公認会計士試験を目指す受講生にとっては、受験のための基礎知識の獲得。					◎					
財務諸表分析 C331-240-06	財務諸表の基本的な見方、収益性や安全性といった企業の経営特性を分析する方法、証券投資等における応用的利用方法について学びます。適宜、実際の財務諸表データを利用して企業特性を分析します。	投資者や債権者といった企業の外部者の視点から、公表財務諸表に基づいて、企業の収益性、安全性、成長性などといった経営特性を分析することや、企業価値を評価することができるようになります。					◎					
銀行論 C331-236-03	銀行の機能や役割を学びます。具体的には、銀行の役割と種類、銀行の業務内容、金融市場の仕組み、中央銀行の機能などを理解します。	銀行の機能や役割についての知識を修得し、その知識を用いて銀行の意義や銀行に関する諸問題を考察できる力を身につけます。						◎				
証券論 C331-236-02	企業金融等をベースに標準的な証券論(主として制度・政策面)の考え方を修得します。	証券に関する制度や政策における諸領域の基礎について、基礎的知識を修得できるようになります。また、証券市場やファイナンスに関する制度・理論・政策にわたる多角的視点から証券市場の動向を観察し現実の諸問題に対して考察し基礎的事項を修得できるようになります。						◎				
保険論 C331-236-05	保険は「危険」に対処するための手段として発展してきましたが、日本人は危険の意味さえもしく理解できていません。日本人の特徴を踏まえ、危険と保険そしてリスクの関係を学修します。	保険理特有の危険の意味を理解し、正しい形でリスク対策としての保険理論を理解できるようになります。また、各種の保険の経営形態や国家の保険政策について理解できるようになります。						◎				

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
リスクマネジメント論 C331-236-06	企業経営においては、高度なリスクマネジメントが必要不可欠である。本講義では、リスクマネジメントの全体像を把握し、リスクマネジメント手法の進化について、ERMの観点から不確実性への対応について考える。	企業経営におけるリスクマネジメントの基本や機能を理解でき、かつ潜在的リスクや顕在化したリスクの管理手法を修得し、実生活で応用できる。						◎				
国際金融論 C331-236-01	国際金融に関する制度や理論を学びます。具体的には、国際収支、国際通貨、外国為替相場、外国為替市場などについて、制度と理論の両面から理解します。	国際金融の制度や理論についての知識を修得し、その知識を用いて国際金融に関する諸問題を考察できる力を身につけます。				○		◎				
コーポレートファイナンス論 C331-236-04	企業の財務戦略を担うコーポレート・ファイナンスの理論と実際を学修します。日々ダイナミックに躍動するビジネスにおけるファイナンスの仕組みと現状とが、具体的事例に即して分かり易く学べます。	複雑化・高度化した企業ファイナンスの基礎的知識が身に付きます。これら専門知識の修得により、グローバル化、情報化、自由化が進展するビジネスで大きな活躍が可能となります。						◎			○	
コンピュータシステム論 C231-601-01	本講義では、コンピュータ内部で扱われる情報表現について学び、さらにコンピュータを構成するハードウェア、システムソフトウェアなどの概要について学ぶ。	コンピュータシステム(基礎理論・コンピュータ構成要素・システム構成要素・ソフトウェア)についてのそれぞれの理論や動作について説明できる。							◎	◎		
情報ネットワーク論 C331-606-01	インターネットやIoTに代表される情報ネットワークの概要とそれを支える基盤技術、必要な基礎理論をわかりやすく学ぶ。TCP/IPプロトコルを学ぶことで、インターネットと情報ネットワークについての理解を深める。情報技術者試験を念頭におき、TCP/IPに必要な基礎技術を理解することを目的とする。	情報ネットワーク、インターネットについて論じることができる。また、TCP/IPプロトコルを説明できる。							◎	◎		
情報セキュリティ C331-607-01	情報ネットワークの様々な脅威とその対策技術である情報セキュリティ技術を関係づけて説明する。情報処理技術者試験を念頭におき、情報ネットワークのセキュリティに必要な基礎技術を理解することを目的とする。	情報ネットワークを取り巻く様々な情報セキュリティに関わる脅威と、その対策技術としての情報セキュリティ技術を説明できる。							◎	◎		

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
データ構造とアルゴリズム C231-601-02	本講義では、各種のデータ構造(コンピュータ上での記録形式)について理解したうえで、登録、削除、整列などのアルゴリズム(処理の流れ、手順のこと)を説明する。処理説明は流れ図や擬似言語プログラムを使用する。	基本的には配列を使った繰返し処理ができ、応用的にはデータ構造に応じた保存と検索、および整列等ができるようにする。							◎	◎		
ソフトウェア開発論 C331-605-01	本講義では、コンピュータのソフトウェアを含むシステム開発の概念について学び、ソフトウェア開発の手順、システムの運用と保守などについて学ぶ。	ソフトウェア開発(システム開発技術・ソフトウェア開発管理技術)について、それぞれの理論や工程について説明できる。							◎	◎		
Webデザイン C231-901-01	本講義では、Webサイトの基礎を学び、ホームページ制作を通して、情報の発信者および受信者、それぞれの観点からビジネスを想定した情報伝達の表現方法を実習を通じて学ぶ。	Webサイトの基本を学び、実際にHTMLおよびCSSでWebページを作成する。ネットショップを想定し、オリジナルのWebページを作成する。							◎	◎		
マルチメディア論 C231-611-01	本講義では、人間(利用者)の感覚および知覚を学び、コンピュータによる情報処理、周辺機器や設備、環境などマルチメディア技術の基礎を学び、情報伝達の方法を考え、商学と関連付けて応用技術を学ぶ。	マルチメディアに関する基礎を修得する。CG-ARTS協会が主催するマルチメディア検定(エキスパート)に合格するレベルを目標にする。							◎	◎		
CGデザイン C331-611-01	本講義では、コンテンツ制作に必要なコンピュータグラフィックスのビジネスへの応用技術として、3次元CGやアニメーション(動画編集)など、実習を通じて学ぶ。	ビジネスの分野に関連するデジタルコンテンツ(3次元CGやアニメーション等)について、オリジナル作品を制作できるようにする。							◎	◎		
コンピュータグラフィックス C331-611-02	本講義では、コンテンツ制作に必要なコンピュータグラフィックスの基礎技術を学び、写真の加工や図形の描画、ポスター作成など、実習を通じて学ぶ。	写真の加工や修正を行い、文字やイラストを装飾して、オリジナル作品が制作できるようにする。							◎	◎		
先端情報システム論 C331-613-01	本講義では、IoTや人工知能のほか、クラウドコンピューティングや組み込みシステムなど最新の情報技術を学び、実際の生活やビジネスでの活用について具体例を挙げながら説明する。	IoTの基盤技術(センサ、クラウド、人工知能)や組み込み技術の概要、および活用例(自動車、家電製品、医療機器、産業機器など)について説明や考察ができる。							◎	◎		
データベース C331-608-01	データベースの仕組みを理解し、データベースを管理するためのツールの使用方法について学ぶ。	データベースシステムの基本概念と役割を説明できる。SQLやAccessを用いてデータベースを作成・管理・検索できる。							◎	◎		

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
データサイエンス演習Ⅰ C331-603-01	プログラミング言語を用いてデータを高度に取り扱うための基礎を学ぶ。	データ分析の基礎知識について、正しく説明することができる。プログラミング言語を用いることによって、データを正しく取り扱うことや、基本的なデータ分析を行うことができる。		○					◎	◎	○	
データサイエンス演習Ⅱ C331-603-02	大規模なデータをプログラミング言語を用いて高度に分析する。	プログラミング言語を用いて大規模なデータの取り扱いや高度なデータ分析を行うことができる。		○					◎	◎	○	
プログラミング入門 C231-605-01	本講義では、Javaを用いたプログラミングの基本的な考え方を学ぶ。具体的には、プログラミングの概念、Javaの基本構造、変数の扱い方、条件判断、繰り返し処理などについて、演習を通じて理解する。	毎回の授業時に行う演習問題に対応したプログラムが自分で作成できる。 作成したプログラムから実行結果が導ける。							◎	◎		
アプリ開発演習Ⅰ C231-605-02	本講義では、プログラミング入門で学んだJavaの基本的な考え方をもとに、Javaが持つ特徴の1つであるオブジェクト指向プログラミングについて学ぶ。	毎回の授業時に行う演習問題に対応したプログラムが自分で作成できる。 作成したプログラムから実行結果が導ける。							◎	◎		
アプリ開発演習Ⅱ C331-605-02	本講義では、Javaを用いたGUIプログラミングの基本的な考え方について学ぶ。そのうえで、GUIに対応したアプリケーションの作成も行う。	毎回の授業時に作成するプログラムから実行結果を導ける。 また、プログラムの動作説明ができる。							◎	◎		
ビジネス実務a (まちづくりと商業施設) C231-239-50	本講義では、商業および商業施設の目的を理解し、まちづくりを考えたデザイン・プロデュース手法を学ぶ。商業施設とまちづくりの関する企画とプロデュースの技法を学ぶ。テキスト、作品やビジネスの事例、参考文献を用いて学修、研究を行う(ビジネス実務bとセットの授業となります)。	商業施設の目的を理解し、デザイン、プロデュースに向けた視点を身につけることができる。また、商業施設士補の資格に必要な単位を取得する。		◎	◎						○	
ビジネス実務b (商業施設とデザイン) C231-239-51	本講義では、商業、および商業施設の目的とつくりかたを学ぶ。さらに、商業施設、立地、客層と心理、造形と感覚、商品・サービス(MD)空間、設備、家具・什器等、ディスプレイ、サインを含めて、そのデザイン手法を学ぶとともに技法を修得する(ビジネス実務aとセットの授業となります)。	商業施設の目的とつくりかたを理解できるようになる。また、商業施設士補の資格に向けた必要単位を取得する。		◎	◎						○	

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
ビジネス実務c (野村証券提供講座) C231-239-52	野村証券の実務に携わる方々から、経済・金融・証券投資などに関する知識を学びます。資本市場の役割と証券投資について理解を深め、経済全体の動向を理解します。	資本市場の役割や投資の考え方など証券に関する知識の修得を通じて、投資の心構えを身に付けるとともに、証券投資に関する諸問題を考察できるようになることが目標です。		◎				◎			○	
ビジネス実務d (豊田信用金庫) C231-239-53	豊田信用金庫の職員の方々から、地域金融機関の実務、役割、現状、課題などを学びます。これを通じて、地域経済の発展において地域金融機関が果たす機能を理解します。	地域金融機関に関する知識を修得し、その知識を用いて地域経済や地域金融に関する諸問題を考察できる力を身につけます。		◎							○	
ビジネス実務e C231-239-54	さまざまな課題を抱える日本だが、第二次世界大戦後の廃墟の中から甦ってきた歴史がある。それはどうして可能になったのか。東西冷戦という現代史の中で、今後に生かすヒントを得る。	日本と世界の現状を自力で把握し、今後の自らの対応を自分で考えることができる能力を身につける。		◎							○	
ビジネス実務f C231-239-55	政治(行政)は社会のあらゆる分野と深いかわりを持つ。政治の実態を知ること、地域社会や経済の課題を理解するうえでとても重要となる。知事・市長の経験から等身大の政治(行政)の姿を伝えたい。	多面的なものの見方やその背後にある真実を見抜く力を養う。		◎							○	
ビジネス実務g C231-239-56	本講義では、自立した消費者として安心して安全で豊かな消費生活を営むことを目的として、消費者問題とこれらに対応して自らの利益を擁護・増進する知識を学ぶ。その上で、消費者市民社会において自主的かつ適切に行動することができる実践的な能力を身につける。	①安心して安全で豊かな消費生活を営むための知識を説明することができる。 ②修得した知識を活用して行動に結びつけることができる。		◎	○			△	△		△	
ビジネス実務h C231-239-57	国際ビジネスの典型である貿易取引を遂行するために必要とされる種々の書類を実際に作成する。一般にそれらの書類は英語で作成されるので、まずはパソコンによる英文文書入力練習から始め、次いで英文書類作成のための知識、ルール、慣習を学修する。	国際ビジネスを遂行するための各種書類を作成するための知識を説明できる。そしてそれらの知識を活用して実際に書類を作成することができる。さらにパソコンの文書入力にあたってのタッチメソッドをマスターすることができる。		◎		○			△		◎	◎

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
SDGsとビジネス C231-239-58	この講義では、SDGsとビジネスの関係を理解することにあります。SDGsは、国際的な取り決めの下、地球環境を守る枠組みです。また企業にとっては、自社のビジネス活動を遂行するにあたって避けられないものとなっています。この講義では、イオン等の環境先進企業の事例を垣間見ながら、SDGsとビジネスについて学んでいきます。	この講義では、SDGsとビジネスの関係性を理解することができます。主にマーケティングの視点から、ソーシャル・マーケティング、エコロジカル・マーケティング、環境マーケティングについて理解を深めていくことができます。こうしたマーケティングの変化はビジネスの変化でもあり、SDGsとビジネスの関係を理解することができるようになります。	◎	◎								
ビジネス法務 C231-239-59	実社会においてビジネスを行う際には民事法規、行政法規、刑事法規などさまざまな法律の適用を受け、あるいは業務上活用する必要がある。このため、本講義では、ビジネスパーソンとして法令を遵守し、あるいは活用する必要がある基礎的な法律の知識や、ビジネスの各場面における法律への対応方法を幅広く学ぶ。	①ビジネスを行う際に必要な法律の概要を説明することができる。 ②ビジネスの各場面における法律への対応方法を説明することができる。		◎	○		△	△	△	△		
経営者講座 C331-238-02	担当講師は、愛知学院大学商学部を卒業し、企業経営の第一線で責任ある立場で活躍している方を毎週講師として招き、長年にわたって蓄積された豊富な経験に基づいて、経営論や人生論を講義していただく。	様々なビジネスの分野における、最新の実践を理解する。自分が経営者になった場合の経営や管理について、具体的にイメージできるようになる。		◎							○	
ビジネススキル特論 a C131-239-50	本講義では、日商簿記検定3級の学修をひと通り終えた学生を対象として、試験対策問題を繰り返し解くことで、日商簿記検定2級の合格に必要な基礎力および応用力を養います。	日商簿記検定3級の合格レベルに達することができる。		◎								
ビジネススキル特論 b C131-239-51	本講義では、日商簿記検定2級の学修をひと通り終えた学生を対象として、試験対策問題を繰り返し解くことで、日商簿記検定2級の合格に必要な基礎力および応用力を養います。	日商簿記検定2級の合格レベルに達することができる。		◎							○	○

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
資格取得講座c C131-844-53	ビジネスに活用することができる商学に関連する資格を取得し、その過程でビジネスに関する知識を獲得する。	ビジネスに活用することができる商学に関連する資格に合格する。		◎							○	
資格取得講座d C131-844-54	ビジネスに活用することができる商学に関連する資格を取得し、その過程でビジネスに関する知識を獲得する。	ビジネスに活用することができる商学に関連する資格に合格する。		◎							○	
日本経済論A/B C331-234-51/ C331-234-52	先進国の中でも最も速く進む少子高齢化が今後の日本経済に与える影響や、世界経済の中における日本経済についての理解を深める。	少子高齢化がに経済成長と財政・社会保障問題に与える影響や、貿易や直接投資が日本経済に与える影響についての議論を理解できるようになる。		◎							○	
財政学A/B C331-235-51/ C331-235-52	国の歳入・歳入構造及び予算制度を学んだ上で、財政赤字問題、税制改革及び社会保障財政を検討する。最終的には高齢社会における財政健全化及び持続可能な財政運営について理解を深めたい。	国の財政制度を体系的に理解できるとともに、財政赤字の要因とその解消、高齢社会を乗り切るための「税・社会保障の一体改革」について、自らの政策論を展開できる能力を培う。		◎							○	
サプライチェーン・マネジメント C331-239-51	原材料の調達、部品・製品の出荷にかかわる物流サービスを扱います。近年、通販の売上が伸びており、物流量は増加しています。ロジスティクス論では物流サービスと競争優位について学びます。	近年、物流のグローバル化と配送の高速化が話題になっています。ロジスティクスは原材料を製品にしてお客様に届けるのに、どんな問題解決をしているのかを、ケーススタディーから把握することを目標とします。		◎							○	
ベンチャー・ビジネス論 C331-238-51	ベンチャー経営者または管理者としての経営資源のマネジメント能力を涵養することに重きを置き、ベンチャービジネスに関わる考え方を体系的に理解すること、特にイノベーションを起こす企業を理論的に理解することを目的とする。	体系的な理論学習を踏まえ、ケース検討の過程では、個人分析→ペア分析→クラス全体分析のステップを踏み、多様な考え方があることを知る。学生は、これらのワークショップを通じ、状況に応じた柔軟な事業構想力と戦略策定力の獲得を目標とする。		◎							○	
中小企業経営論Ⅰ C331-238-52	日本の企業のなかで中小企業は99%を占めています。もともと経営学という学問は主に大企業を対象として形づくられていますが、経営学部で学ぶからには99%という中小企業にも関心を寄せてほしいと思います。本講義では、中小企業およびその経営・戦略について、正しく理解することを狙いとしています。	経営学部の他の授業ではまとまって学ぶ機会のない中小企業を対象としているため、中小企業概念規定から始めて、中小企業の存立形態、経営・戦略上の特徴、経営者の役割について学修します。そうした学修を通じて、大企業と中小企業との違いについて具体的に明確な説明ができるようにします。		◎							○	

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
中部経済論 C231-234-51	[財務省東海財務局の提携講座] 財務本省及び東海財務局などの現役財務省職員が講師として登壇し、財務省・金融庁の視点から「財政」「税制」「金融」等について講義が展開される。	財政、金融及び経済等に関する実践的な知識を身につけることができるようになります。		○							○	
地域ビジネス論 C231-239-60	商業を中心に地域に根差したビジネスの活性化策を模索します。停滞または衰退地域のビジネス(商業集積、商店)の活性化およびまちづくりを進めるための理論的枠組みと実践的手法を学びます。	地域ビジネス活性化はまちづくりと関連することから、履修者が、地域資源調査、街区調査、立地分析、都市計画、生活者行動調査等々の手法により問題を分析し、地域ビジネス活性化とまちづくりの提言ができる能力を身につけることができます。		○							○	
エリア・リサーチⅠ C231-234-52	地域経済の振興を担うシンクタンク(政策研究機関)である中部圏社会経済研究所と連携し、地域経済を分析するために必要な知識や事例等を学びます。	地域経済に関する知識、経済分析手法の把握する素養、それらを駆使して地域経済に対する提案を行う力、さらにフィールドワークを行うことで協働の実践力が身につきます。		○							○	
エリア・リサーチⅡ C231-239-61	中部地域に立地する企業の事例研究を行います。この事例研究は、我が国の中でも製造業が集積する地域のひとつである中部地域の製品戦略を組織間関係の視点で学修します。	この講義では、製品化、組織間関係、ブランド戦略を中心に、中部地区における企業の事例研究を通して企業の優位性と課題を見出す力を養っていきます。		○							○	
エリア・リサーチⅢ C231-238-51	ソーシャルビジネスに関するプロジェクトへの参画を通じ、実践的な学びを行う。グループ単位の活動がメインとなり、集団での成果実現に関する感覚を磨きます。自らの能力を理解し、それらを伸ばすための更なる学修につなげていきます。	成果の達成するだけでなく、成果達成に関連する個と集団との関係、学外者との関係維持、プロジェクトの厳しさや楽しさなどを実践を通じて生きた言葉で表現できるようになります。さらに、自らの能力理解について表明できるようになります。		○							○	
企業と法 C231-216-51	会社についての法的な概念について学んだ上で、会社法の内容の中核である株式会社をめぐる法規制の基礎を学ぶ。	会社の役員が会社の運営を行う上で遵守しなければならない規範の基礎を理解することができる。また、法的視点から見た株式会社のあり様についての知識が身につく。		○							○	
総合民法 C231-216-52	民法の中で、財産の帰属や取引に関わる財産法について学ぶ。財産法の基礎にあたる民法総則、物の帰属や移転に関わる物権法、契約や貸金の回収に関わる債権法の中から、経済活動にとって特に重要な項目について学修する。	民法についての大まかな知識を獲得することができる。問題が生じた際に、その問題を解決するための考え方を身につけることができる。		○							○	

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である 「行学一体」、「報恩感 謝」への深い理解、高 い倫理観と豊かな人間 性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
租税法 A（基礎） C231-212-51	最近の租税に関する事例を題材として、租税法の基本原則、税金の種類と計算方法、申告と納税、税務調査と不服申立てなど基本的事項を修得する。	租税法の基礎知識を修得することができる。これにより、経済取引における予測可能性を確保するための税務の知識を養うことができる。		◎							○	
ビジネス英語 I a C331-143-01	多くの企業が採用している英語力試験であるTOEICに慣れて得点を伸ばすことをねらいにしています。25以上のユニット学修（リーディング、リスニング、TOEIC問題）と単語力養成教材を学修します。	TOEICで規定されているビジネス英語力の内、リスニングとリーディングを向上させるための授業です。パソコンの自学学修が中心です。パソコンによる自学自習が得意でない人や自分で到達目標を設定できない人にはお奨めしませんので、十分に考えてから履修してください。	○	△	○	◎						◎
ビジネス英語 I b C331-143-02	多くの企業が採用している英語力試験であるTOEICに慣れて得点を伸ばすことをねらいにしています。25以上のユニット学修（リーディング、リスニング、TOEIC問題）と単語力養成教材を学修します。	TOEICで規定されているビジネス英語力の内、リスニングとリーディングを向上させるための授業です。パソコンの自学学修が中心です。パソコンによる自学自習が得意でない人や自分で到達目標を設定できない人にはお奨めしませんので、十分に考えてから履修してください。	○	△	○	◎						◎
ビジネス英語 II a C331-143-03	国際ビジネスの典型である貿易取引の流れに沿って、取引当事者間で交わされるビジネス文書を素材として、そこに書かれた英語を学修する。まずは読む力を養い、次いで書く力を養う。	貿易取引の流れに沿ってそれぞれの場面で典型的に見られる専門用語や英文レター・メールにおける慣用的な表現を理解し、実際の文書作成に応用できる。将来こうした分野に進もうと考えている者にとって、英語を読む力と書く力を高めることができる。	○	○		◎					○	◎
ビジネス英語 II b C331-143-04	国際ビジネスの典型である貿易取引の流れに沿って、取引当事者間で交わされるビジネス文書を素材として、そこに書かれた英語を学修する。春学期 II a のアドバンストなクラスとして、特に書く力を養うことに力点を置く。	貿易取引の流れに沿ってそれぞれの場面で典型的に見られる専門用語や英文レター・メールにおける慣用的な表現を理解し、実際の文書作成に応用できる。将来こうした分野に進もうと考えている者にとって、英語を読む力と書く力を高めることができる。	○	○		◎					○	◎
ビジネス英会話 I C331-141-01	現在の英語力を利用して、将来使えるような力をつける。英語を話すとき、リラックスして話せるようにする。単語の数を増やす。	The overall objective of this course is to improve student's conversational ability.	○	△		◎						◎
ビジネス英会話 II C331-141-02	現在の英語力を利用して、将来使えるような力をつける。英語を話すとき、リラックスして話せるようにする。単語の数を増やす。	The overall objective of this course is to improve student's conversational ability.	○	△		◎						◎

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
ゼミナールⅠ C232-842-01	演習テーマに関連する課題について文献・資料に基づき研究し、これを発表し、他の受講生と議論することにより、各自の卒業論文等につながる研究を深める。	演習テーマに関連する課題について調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。 卒業論文等の執筆の基礎力・応用力を身につけることを目標とする。	○	○	(いずれか1つ、または複数の項目について)◎						◎	○
ゼミナールⅡ C332-842-01	演習テーマに関連する課題について文献・資料に基づき研究し、これを発表し、他の受講生と議論することにより、各自の卒業論文等につながる研究を深める。	演習テーマに関連する課題について調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。 卒業論文等の執筆の基礎力・応用力を身につけることを目標とする。	○	○	(いずれか1つ、または複数の項目について)◎						◎	○
ゼミナールⅢ C432-842-01	演習テーマに関連する課題について文献・資料に基づき研究し、これを発表し、他の受講生と議論することにより、各自の卒業論文等につながる研究を深める。	演習テーマに関連する課題について調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。 卒業論文等の執筆の基礎力・応用力を身につけることを目標とする。	○	○	(いずれか1つ、または複数の項目について)◎						◎	○
卒業研究 C436-845-01	ゼミナールⅠ～Ⅲで身につけた能力に基づき、演習テーマに関連する課題に関連する各自の研究を深め、これを卒業論文等として発表する。	卒業論文等に関連する仮説を設定し、参考文献・データを適切に収集し、これらに基づき仮説を検証し、検証結果を論文として執筆することができる。	○	○	(いずれか1つ、または複数の項目について)◎						◎	○
英書講読Ⅰ C331-843-01	近年、ビジネスのグローバル化にともない、英文のビジネス文書(企画書、報告書、契約書等)を読む機会が増大しており、その基礎となる英文読解力がますます重要になってきている。 この授業では、構文を捉える能力(正しい文法知識を持ち、それを適用する能力)」を重点的に養う。また、ビジネス文書で頻繁に使用される語彙を修得するために、多くの企業が採用している英語力試験であるTOEICに準拠した英文を素材として使用する。	具体的な到達目標は次のとおりである。 ・ビジネス文書で用いられる英文を読解するための基礎的な能力を養う。 ・TOEIC L&Rスコア500点以上を取得するために必要な英文法の知識を身につける。 ・TOEIC L&Rスコア500点以上を取得するために必要な語彙を身につける。	○	△		◎						◎

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
キャリア・デザインⅢ C331-861-01	この授業は、就職活動を行う3年生を対象として、自らの希望する就職が実現するための知識・スキルを身につけることを目的とした授業を行う。具体的には就職に向けた自己分析・仕事研究などの情報提供や、自己紹介・面接・グループディスカッションなど就職試験に必要なスキルを実践的に体験することにより、希望する就職が実現する能力を身に付けることにつなげる。	就職活動の際に希望する就職を実現するために知識・スキルを活用することができる。	○								◎	◎
産官民提携講座a (税理士による租税講座) C231-861-02	税務の専門家である税理士から、税法、税制や会計について学び、税法と税理士の関わりや税理士業務の意義と役割について学ぶ。	税法、税制や会計の基本を理解し、租税に関する法や法理論の機能と課題等、税務の実際を知り、税理士業務の意義について説明できる。		◎							○	
産官民提携講座b C231-861-03	「自分事」としてSDGs（持続可能な開発目標）の推進に関わり、他者や社会を巻き込んで、SDGsの達成に貢献するために必要な知識を幅広く学ぶ。	(1)SDGsの基本(理念、歴史、現状、未来)を説明できる。 (2)身近なトピックに即してSDGsの重要性を説明できる。 (3)「自分事」としてSDGsを捉え、SDGsの達成に資する具体的な行動変容のあり方を提案、説明できる。		◎							○	
産官民提携講座c C231-861-04	「サステナブル・スマート」を目指す名城公園キャンパスの構想から建築に関わった実務家、省CO ₂ の効果測定に携わる研究者を招聘し、キャンパスをフィールドとして理想と現実を行き来しながら実際に学ぶ。	まず地球温暖化と都市温暖化の実際を理解し、次いで省CO ₂ を実現する需要と供給両側面のエネルギー・マネジメントについて、工学的及び建築学的条件の最先端技術を学ぶことを目標とする。		◎							○	
産官民提携講座d (地域連携学Ⅰ) C231-861-05	社会問題の解決に貢献するソーシャルビジネスの創業・経営者を講師として招聘し、産官では対応できない問題に市民セクターがどのような取り組みをしているかを学ぶ。	第1に社会問題と解決策の最先端を学び生活者としての視野を広げ、第2に社会起業家との対話を通じて異文化コミュニケーション能力の向上を目指す。		◎							○	
産官民提携講座e (課題解決型演習Ⅰ) C231-861-06	まちづくり、地域活性化等で課題を抱える連携先とともに、課題克服策を検討し、対策を実践するフィールドワーク型の演習である。	地域問題の診断力、解決策の立案力、実務家への提案力と協働を通じた変革推進を支えるプロジェクトマネジメント力等の修得を目標とする。		◎							◎	

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
産官民提携講座f C231-861-07	仕事と職場のルールである「ワークルール」の理解を通じて、労働法・社会保険関連の知識を実例に即して身につけることを目的とする。また、社会保険労務士が取り扱う業務の実際や、社会人になるための基礎知識、職場で生き活きと働くためのノウハウを伝授する。	雇用・労働に係る社会的課題へのアプローチ方法を理解することを目標とする。社会保険労務士の業務内容・活躍のフィールドを学ぶことを通じ、企業・個人にとっての社会保障制度の意義を理解する。		◎							○	
インターンシップ C232-861-01	将来のキャリアに関連した職業体験を行う。	将来のキャリア設計をより具体的に描くことができる。		◎							○	○

◎・・・DP達成のために、特に重要な事項
○・・・DP達成のために、重要な事項
△・・・DP達成のために、望ましい事項